



B

6

960



日本地理書

凡例

此書

ハ上等小學ニ用ウルモノナレバ「ナチエ

ルゼオガラヒ」ナル地形山川海所等ヨリ

ホリチエカルゼオガラヒ」ナル府縣人情風

俗等及ビ「マテマチカルゼオガラヒ」ナル経緯

度數ノ大略ヲ論ズ

各道毎トニ略史ヲ記スハ其國ノ沿革等ヲ知

シムル為メナリ

畧史中紀元何年トアルハ神武天皇即位元年

明治三十四年五月
三國書局發行

辛酉ヲ元トス

府縣山河都邑等ハ地面ト相照ラシテ其位置
等ヲ了解スベシ

編入ノ各國畠ハ悉ク記スルニアラズ只書中

ニ記載スルトコロヲ舉グルノミ

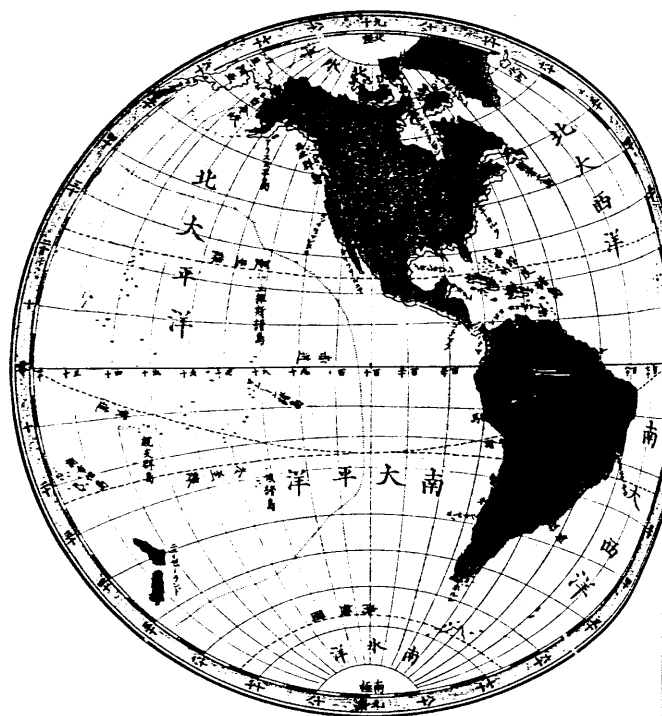
頭書ニ問ヲ舉クルハ生徒ノ暗記ニ備フル為
メナリ

明治九年 第一月

井出猪之助誌

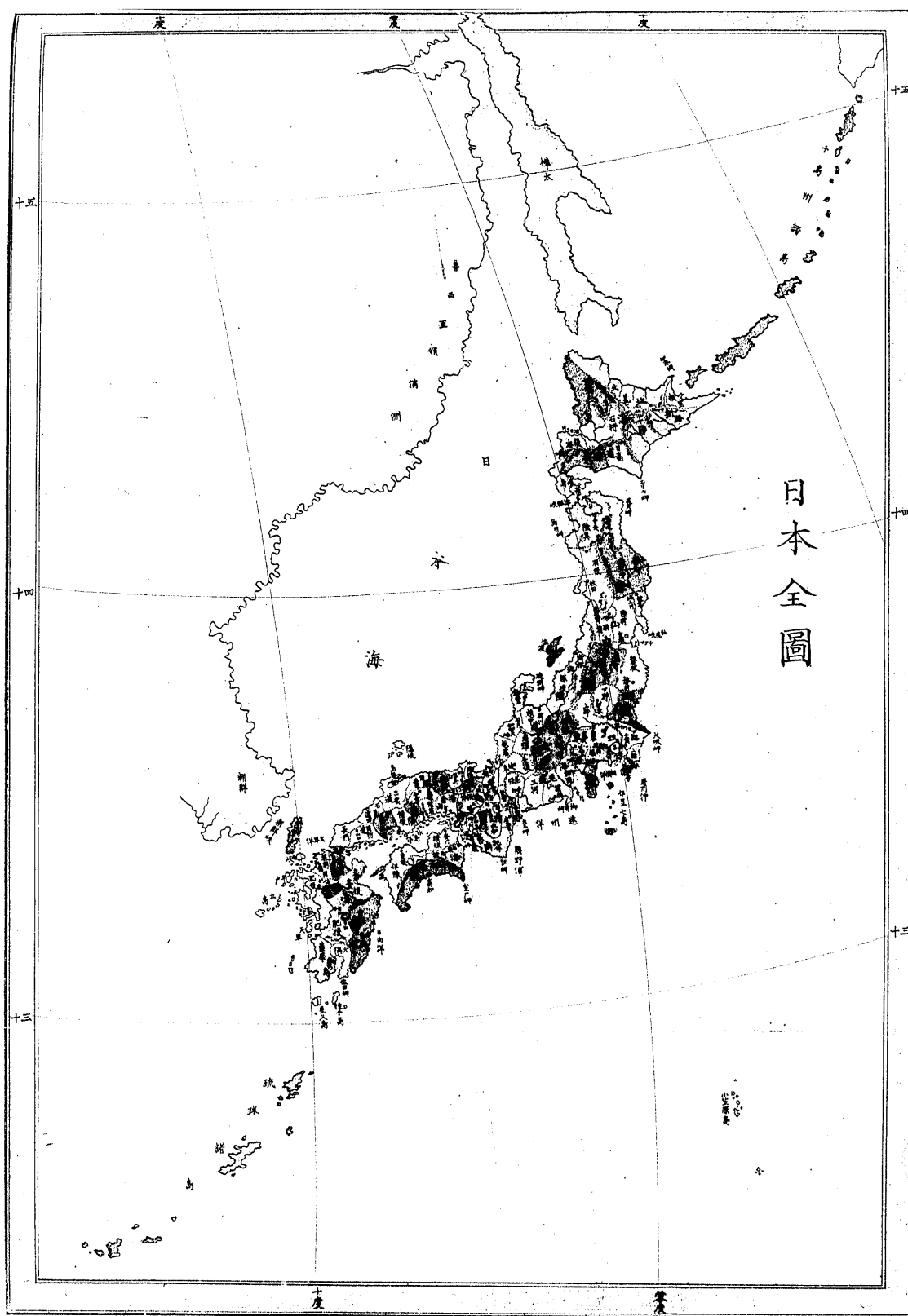
圖世

球半西



球半東





東
不
朝
三

日本
地理
研究
卷之一

卷之一

問 総論

井出猪之助 著

問 日本ノ位置ハ如何、

問 日本ノ地形ハ如何、

問 日本ハ何大島ト如何ナル島嶼ヲ以テ成立ス

ルヤ、

問 日本ノ四境ハ如何、

分界

日本地理研究

問畿内 八 、如何、	問大和 八 、如何、
問東海道 八 、如何、	問河内 八 、如何、
問東山道 八 、如何、	問和泉 八 、如何、
問北陸道 八 、如何、	問摂津 八 、如何、
問北海道 八 、如何、	問伊賀 八 、如何、
問山陰道 八 、如何、	問伊勢 八 、如何、
問山陽道 八 、如何、	問志摩 八 、如何、
問西海道 八 、如何、	問尾張 八 、如何、
問南海道 八 、如何、	問三河 八 、如何、
問山城 八 、如何、	問遠江 八 、如何、

問駿河 八 、如何、	問美濃 八 、如何、
問甲斐 八 、如何、	問飛彈 八 、如何、
問伊豆 八 、如何、	問信濃 八 、如何、
問相摸 八 、如何、	問上野 八 、如何、
問武藏 八 、如何、	問下野 八 、如何、
問安房 八 、如何、	問岩代 八 、如何、
問上総 八 、如何、	問磐城 八 、如何、
問下総 八 、如何、	問陸前 八 、如何、
問常陸 八 、如何、	問陸中 八 、如何、
問近江 八 、如何、	問陸奥 八 、如何、

問羽前、如何、
問羽後、如何、
問若狹、如何、
問越前、如何、
問加賀、如何、
問能登、如何、
問越中、如何、
問越後、如何、
問丹波、如何、
問丹後、如何、

問但馬、如何、
問目幡、如何、
問伯耆、如何、
問出雲、如何、
問石見、如何、
問隱岐、如何、
問播磨、如何、
問美作、如何、
問備前、如何、
問備中、如何、

問備後、如何、
問安藝、如何、
問周防、如何、
問長門、如何、
問紀伊、如何、
問阿波、如何、
問讃岐、如何、
問伊豫、如何、
問土佐、如何、
問筑前、如何、

問筑後、如何、
問豊前、如何、
問豊後、如何、
問肥前、如何、
問肥後、如何、
問日向、如何、
問大隅、如何、
問薩摩、如何、
問渡島、如何、
問後志、如何、

問石狩ハ如何、
 問天塩ハ如何、
 問北見ハ如何、
 問膽振ハ如何、
 問日高ハ如何、
 問十勝ハ如何、
 問釧路ハ如何、
 問根室ハ如何、
 島
 問壹岐ハ如何、

問對馬ハ如何、
 問琉球島ハ如何、
 問隱岐ハ如何、
 問淡路ハ如何、
 問佐渡ハ如何、
 問伊豆ノ七島ハ如何、
 問小笠原島ハ如何、
 問種子島ハ如何、
 問屋久島ハ如何、
 問天草ハ如何、

問平戸五島ハ如何、
 問千島ハ如何、
 海
 問日本海ハ如何、
 問茅渚ノ海ハ何處ニアリヤ、
 リヤ、
 問熊野浦ハ何處ニアリヤ、
 問伊勢ノ海ハ如何、
 問遠州洋ハ如何、

問相模洋ハ如何、
 問房州沖ハ如何、
 問外ヶ濱ハ如何、
 問水島洋ハ何處ニアリヤ、
 問播磨洋ハ如何、
 問玄界洋ハ如何、
 問日向洋ハ如何、
 灣
 問品川灣ハ何處ニアリ、

問箱館ハ、何處ニアリヤ、	問箱館灣ハ、如何、
問富津岬ハ、何處ニアリ	問鹿兒島灣ハ、如何、
問大吠岬ハ、何處ニアリ	問箱館灣ハ、如何、
ヤ、	問根室灣ハ、如何、
港	
問横濱ハ、何處ニアリヤ、	問御前岬ハ、何處ニアリ
問兵庫ハ、何處ニアリヤ、	ヤ、
問新潟ハ、何處ニアリヤ、	問大王岬ハ、何處ニアリ
問長崎ハ、何處ニアリヤ、	ヤ、

問尻矢岬ハ、何處ニアリ	山
ヤ、	問富士山ハ、何處ニアリ
問鳥井岬ハ、何處ニアリ	ヤ、
ヤ、	問筑波山ハ、何處ニアリ
問珠洲岬ハ、何處ニアリ	ヤ、
ヤ、	問白山ハ、何處ニアリヤ、
問汐岬ハ、何處ニアリヤ、	問阿蘇山ハ、何處ニアリ
問土肥岬ハ、何處ニアリヤ、	ヤ、
ヤ、	問霧島山ハ、何處ニアリ
問知床岬ハ、何處ニアリヤ、	ヤ、

問岩城山ハ、何処ニアリ

ヤ、

問後志羊蹄山ハ、何処ニ

アリヤ、

湖

問琵琶湖ハ、何処ニアリ

ヤ、

問霞浦湖ハ、如何、

問印幡沼ハ、如何、

問諏訪湖ハ、如何、

問猪苗代湖ハ、如何、

問松江湖ハ、如何、

河

問利根川ハ、如何、

問千隈川ハ、如何、

問大井河ハ、如何、

問木曾川ハ、如何、

問淀川ハ、如何、

問阿武隈川ハ、如何、

問筑後川ハ、如何、

問石狩川ハ、如何、

海峡

問吉島峽ハ、何處ニアリ

ヤ、

問岩屋峽ハ、何處ニアリ

ヤ、

問赤間峽ハ、何處ニアリ

ヤ、

問津輕峽ハ、何處ニアリ

ヤ、

地峽

問牡鹿峽ハ、如何、

問塩屋峽ハ、如何、

問小竹峽ハ、如何、

問藤戸峽ハ、如何、

総論

○我日本帝國ハ、何半球ノ何部ニアリヤ、

北緯幾度東經幾度ノ間ニアリヤ

○其地界ハ、如何

○長サ及ビ廣サハ、如何

総論

○我日本國ハ、東半球ノ東部、即チ亞細亞洲ノ東端ニ位シ、北緯二十四度二十分ヨリ起テ、五十四度ニ至リ、經度東京偏東八度八分ヨリ起リテ、西偏十六度五十五分ニ至ル、

○其地、北ハ、荷克斯科海ヲ隔テ、西伯亞ニ望ミ、東南ハ、太平洋ニ面シ、西北ハ、支那高麗及ヒ滿州ニ對ス、

○其地形、東北ヨリ斜ニ西南ニ延ビ、其長サ凡五百餘里、廣サ凡三十餘里、或六十餘里ニ至ル、其形、恰

其形何ニ似タリヤ、

○本州ハ、如何

四國ハ、如何九州ハ、如何其他ノ島嶼ハ、如何

分界

○全國ノ大別ハ、如何小別ハ、如何

○畿内ノ國又奉ケヨ、

モ蝙蝠ノ翼ヲ張ルニ似タリ、

○中央ニアル最大ノ島ヲ本州トシ、南ニアル大島ヲ四國ト云ヒ、西ニアル大島ヲ九州ト云ヒ、北ニアル大島ヲ北海道ト云フ、其他ノ島嶼ハ、壹岐、對馬、淡路、隱岐、佐渡、千島、琉球等ナリ、

分界

○全國ヲ大別シテ、畿内八道トシ、又八道ヲ別テ、八十四國トシ、又之ヲ小別シテ、七百十七郡トス、即チ左ノ如シ、

畿内五箇國五十五郡

山城ノ郡ヲ
挙ケヨ、

山城國八郡

大和ノ郡ヲ
挙ケヨ、

大和國十五郡

河内ノ郡ヲ
挙ケヨ、

河内國十六郡

和泉ノ郡ヲ
挙ケヨ、

錦部、石川、古市、安宿部、大縣、高安、河内、讚良、茨田、
交野、若江、淡川、丹南、丹北、八上、志貴、
和泉國四郡
大鳥、和泉、泉南、日根、

摂津ノ郡ヲ
挙ケヨ、

摂津國十三郡

東海道ノ國ヲ
挙ケヨ、
伊賀ノ郡ヲ
挙ケヨ、

東海道十五箇國百二十九郡

伊賀國四郡

伊勢ノ郡ヲ
挙ケヨ、

伊勢國十三郡

志廣ノ郡ヲ
挙ケヨ、

志摩國二郡

桑名、員辨、朝明、三重、鈴鹿、河曲、奄藝、安濃、壹志、
飯高、飯野、多氣、度會、

尾張ノ郡ヲ
挙ケヨ、

答志、英虞、
尾張國八郡

参河ノ郡ヲ
挙ケヨ、

知多、愛智、丹羽、春日井、海東、海西、葉栗、中島、
参河國八郡

遠江ノ郡ヲ
挙ケヨ、

八名、設樂、賀茂、額田、碧海、幡豆、寶飯、渥美、
遠江國十二郡

駿河ノ郡ヲ
挙ケヨ、

榛原、周智、佐野、豊田、山名、城東、磐田、長土、鹿玉、
引佐、濱名、敷智、
駿河國七郡
駿東、富士、桑原、安倍、志田、益津、有度、

甲斐ノ郡ヲ
挙ケヨ、

甲斐國四郡

伊豆ノ郡ヲ
挙ケヨ、

巨摩、八代、山梨、都留、
伊豆國四郡

相模ノ郡ヲ
挙ケヨ、

君沢、田方、那賀、賀茂、
相模國九郡

武藏ノ郡ヲ
挙ケヨ、

足柄上、足柄下、津久井、愛甲、大住、陶綾、高座、鎌
倉、三浦、
武藏國二十二郡
秩父、多摩、高麗、児玉、加美、那賀、榛沢、幡羅、男衾、
比企、大里、横見、入間、新座、埼玉、足立、葛飾、豊嶋、

安房ノ郡ヲ
挙ケヨ、

荏原都筑桶樹、久良、
安房國四郡

上総ノ郡ヲ
挙ケヨ、

安房、朝夷、長狹、平郡、
上総國九郡

下総ノ郡ヲ
挙ケヨ、

天羽、周淮、望陀、夷隅市原、埴生、長柄、山邊、武射、
下総國十二郡
葛飾、相馬、印幡、千葉、埴生、香取、匝瑳、海上、豐田、
岡田、猿島、結城、

常陸ノ郡ヲ
挙ケヨ、

常陸國十一郡
久慈、多賀、茨城、鹿島、行方、新治、筑波、真壁、信太、

東山道ノ國
ヲ、挙ケヨ、
近江ノ郡ヲ
挙ケヨ、

那賀、河内、
東山道十三箇國百三十二郡
近江國十二郡

美濃ノ郡ヲ
挙ケヨ、

滋賀、栗太、野洲、甲賀、蒲生、神崎、愛知、犬上、坂田、
淺井、伊香、高島、
美濃國二十一郡

元彈ノ郡ヲ
挙ケヨ、

多藝、石津、不破、安八、池田、大野、本巢、帝田、厚見、
各務、山縣、武儀、郡上、加茂、可兒、土岐、惠那、方縣、
海西、羽栗、中嶋、
飛彈國三郡

信濃ノ郡ヲ
拳ケヨ、

大野、吉城、益田、

信濃國十郡

佐久、小縣、諏訪、伊奈、筑摩、安曇、更科、埴科、水内、

高井、

上野ノ郡ヲ
拳ケヨ、

上野國十四郡

利根、勢田、吾妻、群馬、碓氷、甘樂、多胡、綠野、片岡、

那波、佐位、新田、山田、邑樂、

下野ノ郡ヲ
拳ケヨ、

下野國九郡

那須、塩谷、芳賀、寒川、安蘇、足利、蕨田、都賀、河内、

磐城ノ郡ヲ
拳ケヨ、

磐城國十四郡

岩代ノ郡ヲ
拳ケヨ、

岩代國九郡

菊田、磐前、磐城、猶葉、標葉、行方、宇多、且理、伊具、
刈田、由利、石川、白川、白河、

陸前ノ郡ヲ
拳ケヨ、

陸前國十四郡

柴田、名取、宮城、黒川、加美、志田、遠田、玉造、栗原、
登米、桃生、牡鹿、本吉、氣仙、

陸中ノ郡ヲ
拳ケヨ、

陸中國十郡

磐井、江刺、膽沢、和賀、裨貫、斯波、岩手、鹿角、閉伊、
九戸、

陸奥ノ郡ヲ
挙ケヨ

陸奥國四郡

羽前ノ郡ヲ
挙ケヨ

二戸、三戸、北郡、津輕、
羽前國四郡

羽後ノ郡ヲ
挙ケヨ

置賜、村山、最上、田川、
羽後國八郡

北陸ノ國ヲ
挙ケヨ

雄勝、平鹿、仙北、鮎海、由利、河邊、秋田、山本、
北陸道七箇國三十三郡

若狹ノ郡ヲ
挙ケヨ

若狹國三郡

越前ノ郡ヲ
挙ケヨ

大飯、速敷、三方、
越前國八郡

加賀ノ郡ヲ
挙ケヨ

敦賀、南條、丹生、今立、足羽、大野、吉田、阪井、
加賀國四郡

能登ノ郡ヲ
挙ケヨ

江沼、能美、石川、河北、
能登國四郡

越中ノ郡ヲ
挙ケヨ

羽咋、鹿島、鳳玉、珠洲、
越中國四郡

越後ノ郡ヲ
挙ケヨ

礪波、射水、婦負、新川、
越後國七郡

佐渡ノ郡ヲ
挙ケヨ

頸城、川羽、三島、魚沼、古志、蒲原、岩船、
佐渡國三郡

羽茂、雜太、加茂

山陰道八箇國五十三郡

丹波國六郡

桑田、船井、何鹿、多紀、氷上、天田

丹後國五郡

加佐、与謝、中、竹野、熊野

但馬國八郡

朝采、養父、出石、氣多、城崎、美含、二方、七味

因幡國八郡

岩井、法美、八東、八上、智頭、邑美、高草、氣多

山陰道ノ國
ヲ、拳ケヨ、

丹波ノ郡
ヲ、拳ケヨ、

丹後ノ郡
ヲ、拳ケヨ、

但馬ノ郡
ヲ、拳ケヨ、

伯耆ノ郡
ヲ、拳ケヨ、

出雲ノ郡
ヲ、拳ケヨ、

石見ノ郡
ヲ、拳ケヨ、

隱岐ノ郡
ヲ、拳ケヨ、

山陽道ノ國
ヲ、拳ケヨ、

伯耆國六郡

河村、久米、八橋、汗入、會見、日野

出雲國十郡

出雲、楯縫、秋鹿、島根、意宇、大原、能美、仁多、飯石

神門

石見國六郡

安濃、速摩、邑智、那賀、美濃、鹿足

隱岐國四郡

知夫、海部、周吉、越智

山陽道八箇八十一郡

播磨ノ郡ヲ
挙ケヨ、

播磨國十六郡

明石、加古、印南、美濃、加東、加西、多可、神東、神西、
飾東、飾西、揖東、揖西、赤穂、宍粟、佐用、

美作ノ郡ヲ
挙ケヨ、

美作國十二郡

吉野、英多、勝南、勝北、久米南條、久米北條、東北
條、西北條、西々條、東南條、大庭、真島、

備前ノ郡ヲ
挙ケヨ、

備前國八郡

和氣、邑久、磐梨、上道、赤坂、津高、御野、児島、

備中ノ郡ヲ
挙ケヨ、

備中國十一郡

都宇、窪屋、淺口、賀陽、下道、小田、後月、川上、上房、

備後ノ郡ヲ
挙ケヨ、

備後國十四郡

深津、安那、神石、沼隈、品治、葦田、御調、世羅、三次、
三谿、甲奴、三上、惠蘇、奴可、

安藝ノ郡ヲ
挙ケヨ、

安藝國八郡

豊田、安藝、賀茂、沼田、佐伯、高田、高宮、山縣、

周防ノ郡ヲ
挙ケヨ、

周防國六郡

玖珂、熊毛、大島、都濃、佐波、吉敷、

長門ノ郡ヲ
挙ケヨ、

長門國六郡

厚狹、豊浦、大津、美禰、阿武、見島、

遠賀、宗像、鞍手、穗波、嘉麻、上座、下座、夜須、御笠、糟屋、席田、耶珂、早良、志摩、怡土、

筑後ノ郡ヲ
挙ケヨ、

筑後国十郡

御原、御井、三瀨、山門、三池、下妻、上妻、山本、竹野、

三葉、

豊前ノ郡ヲ
挙ケヨ、

豊前国八郡

企救、田川、京都、仲津、筑城、上毛、下毛、宇佐、

豊後ノ郡ヲ
挙ケヨ、

豊後国八郡

國東、速見、大分、海部、大野、直入、玖珠、日田、

肥前ノ郡ヲ
挙ケヨ、

肥前国十一郡

松浦、彼杵、高来、藤津、杵島、小城、佐嘉、三根、神薮、

養父、基肆、

肥後ノ郡ヲ
挙ケヨ、

肥後国十四郡

阿蘇、菊池、益城、託摩、合志、山鹿、山本、玉名、飽田、

宇土、八代、葦北、玖麻、天草、

日向ノ郡ヲ
挙ケヨ、

日向国五郡

白杵、児湯、耶河、宮崎、諸縣、

大隅ノ郡ヲ
挙ケヨ、

大隅国八郡

菱刈、桑原、始羅、嚙吹、肝屬、大隅、熊毛、取謨、

薩摩ノ郡ヲ
挙ケヨ、

薩摩国十三郡

鹿児島、谿山、給黎、揖宿、穎娃、河邊、河多、日置、薩摩、高城、出水、伊佐、甕島、

壹岐ノ郡ヲ
挙ケヨ

壹岐國二郡

對馬ノ郡ヲ
挙ケヨ

對馬國二郡

上縣、下縣

北海道ノ國ヲ
挙ケヨ、
渡島ノ郡ヲ
挙ケヨ

北海道十一箇國八十六郡

渡島國七郡

龜田、茅部、上磯、福島、津輕、檜山、爾志

後志ノ郡ヲ
挙ケヨ

後志國十七郡

久遠、與尻、大樽、瀬棚、島牧、壽都、歌棄、磯屋、岩内、古宇、積丹、美國、古平、余市、忍路、高島、小樽

石狩ノ郡ヲ
挙ケヨ

石狩國九郡

石狩、札幌、夕張、樺戸、空知、雨龍、上川、厚田、濱益

天塩ノ郡ヲ
挙ケヨ

天塩國六郡

増毛、留萌、苫前、天塩、中川、上川

北見ノ郡ヲ
挙ケヨ

北見國八郡

宗谷、利尻、礼文、枝幸、紋別、常呂、網走、斜里

膽振ノ郡ヲ
挙ケヨ

膽振國八郡

山越、蛇田、有珠、室蘭、幌別、白老、勇拂、千歲

日高ノ郡ヲ
挙ケヨ

日高國七郡

沙流、新冠、静内、三石、浦河、様似、網走

十勝ノ郡ヲ
挙ケヨ、

十勝國七郡

釧路ノ郡ヲ
挙ケヨ、

釧路國七郡

根室ノ郡ヲ
挙ケヨ、

根室國五郡

千島ノ郡ヲ
挙ケヨ、

千島國五郡

國後、擇捉、振別、紗那、葉取、

花咲、根室、野付、標津、目梨、

廣尾、當縁、大津、中川、河東、河西、十勝、

白糠、足寄、釧路、阿寒、繩尻、川上、厚岸、

○府縣ハ、幾
許アリヤ、

三府ヲ挙ケ
ヨ、
五十九縣ヲ
ケヨ、

○國郡ノ制、大小廣狹一ナラス、一國ニシテ二三郡
ノモノアリ、又十數郡ノモノアリ、郡ノ村ヲ有ス
ルヲ亦タ斯ノ如シ、是地形田畝ノ便利ニ因ルガ
故ナリ、

○近世、更ニ全國ヲ別ツテ、三府五十九縣トシ、又之
ヲ大區小區ニ分、三府五十九縣名左ノ如シ、

東京府

京都府

大坂府

神奈川縣

兵庫縣

長崎縣

新潟縣

埼玉縣

長野縣

千葉縣

茨城縣

熱海縣

栃木縣

奈良縣

堺縣

三重縣	廣會縣	愛智縣	濱松縣
静岡縣	山梨縣	滋賀縣	岐阜縣
筑摩縣	長野縣	宮城縣	福島縣
磐前縣	若松縣	水沢縣	岩手縣
青森縣	山形縣	置賜縣	鶴岡縣
秋田縣	秋田縣	石川縣	新川縣
相川縣	豐岡縣	鳥取縣	島根縣
濱田縣	飾磨縣	北條縣	岡山縣
名東縣	廣島縣	山口縣	和歌山縣
	香川縣	愛媛縣	高知縣

○府縣ノ大
小アルハ、如
何、

北海道ノ管
轄ハ、如何、

○富士山ハ、
如何、

福岡縣 三潁縣 小倉縣 大分縣
 佐賀縣 熊本縣 宮崎縣 鹿兒島縣

○府縣ノ制、亦ク大小廣狹一ナラズ、故ニ府、國中
 ノ數郡ニ止マルモノアリ、又二國ニ跨ルモノア
 リ、縣亦數郡ナルモノアリ、又二國ニ跨リ、或ハ二
 三國ヲ併合スルモノアリ、是亦、地形田畝ノ便利
 ニ因ル故ナリ、而シテ北海道ハ、縣ヲ置カズシテ、
 開拓使之ヲ管轄ス、

山

○國內、山脈重疊、峻嶺多シ、殊ニ富士山ノ如キハ、

其他ノ大山
ハ、如何

噴火山ハ、如
何

阿蘇山ハ、如
何

富士山ノ大
洞ハ、如何

海濱

○海濱ハ、如
何

駿河甲斐ニ跨ル皇國第一ノ至峻ニシテ、其高サ
直立一千四百十七丈アリ、其絶頂四時氷雪ヲ冠
ス、其他、常陸ノ筑波山加賀ノ白山大和ノ大峯日
向ノ霧島山等ノ高山アリ、又國中噴火山多シ、肥
後ノ阿蘇山信濃ノ淺間山ノ如キハ、其嶺煙焰常
ニ絶ヘズ、殊ニ阿蘇山ハ、九州第一ノ高峯ナリ、富
士山モ往時ハ、噴火山ニシテ、今其頂ニ大洞アリ、
是古時煙焰ヲ叢スル處ト云フ、

海濱

○我皇國ハ、島ナル故ニ、海濱多シテ、港灣頗ル多

湾ノ大ナル
モノハ、如何

五大埔頭ハ、
如何

○海ノ大ナ
ルモノヲ舉

海ノ小ナル
モノヲ、舉

シ、其内、最大ナルモノハ、摂津ノ大坂湾、武藏ノ品
川湾、陸前ノ松島湾、陸奥ノ八郎湾、渡島ノ箱館
湾、薩摩ノ鹿児島湾等ナリ、港ノ最モ盛大ナルモ
ノハ、武藏ニ横濱アリ、摂津ニ神戸アリ、肥前ニ長
崎アリ、越後ニ新潟アリ、渡島ニ箱館アリ、之ヲ我
國ノ五大埔頭ト云フ、其他小港小湾ハ今此ニ畧ス、

海

○東南ニ太平洋アリ、西北ニ日本海アリ、北ニ荷
哥斯科海アリ、是海ノ廣大ナルモノナリ、其他陸
地ニ接近スル海ハ、東海ニ遠州洋相模海、鹿児島洋

アリ南海ニ紀州洋播磨洋水島洋アリ、西海ニ周防洋響洋玄界洋アリ、北海ニ石見河能登ノ海アリ、是海ノ小ナルモノナリ、

湖

○琵琶湖
ハ如何、
興道湖ハ如何、
猪苗代湖ハ如何、
其他ノ大ナル湖ハ如何

○國內湖水多シ、近江ニ大湖アリ、其形琵琶ニ似タルヲ以テ、琵琶湖ト云フ、其周圍大凡七十餘里、我國第一ノ大湖ナリ、其次ハ、出雲ノ宍道湖ニメ、其周圍九十一里余、又其次ハ、岩代猪苗代湖ニメ、其周圍九十里、其他、常陸霞浦湖、下総ノ印旛沼、信濃ノ諏訪湖等ハ、皆湖ノ大ナルモノナリ、

河

國中大河ノ少ナキ故ハ、如何、
利根川ハ如何、
信濃川ハ如何、
北上川ハ如何、
其次ノ大河ヲ舉ゲヨ、

河

○國內、高山多シ、故ニ水源ニ乏シカラズト虽モ、地形幅狭キカ故ニ、大河ヲ成スニ至ラズ、獨、利根川、源ヲ上野ノ烏帽子岳ニ發シ、下野及ビ下総常陸ノ境ヲ過キテ、東海ニ注ク、信濃川ハ、源ヲ甲斐ニ發シ、信濃越後ヲ經テ、北海ニ入ル、北上川ハ、源ヲ陸中ノ岩鷲山ノ陰ニ發シ、南流シテ、陸前ニ至リ、東海ニ入ル、此三河ヲ最モ大ナリトス、其他、武藏ニ荒川アリ、遠江ニ大井川、天龍川アリ、尾張ニ木曾川アリ、羽前ニ最上川アリ、是其次ナルモノ

土地

○土地ハ、如何、

山ハ、如何、

野ハ、如何、

氣候

○南地ノ氣候ハ、如何、

北地ノ氣候ハ、如何、

同緯度ノ他邦ニ比スレバ、如何、

ナリ

土地

○國內土地膏腴、山ハ概ネ樹木繁茂シ、野ニ良田多シ、人民カヲ耕作ニ尽シ、丘陵ニ至ルマテ、田園充滿ス、然レモ、北海道ハ、未タ開ケサル地多シ、

氣候

○氣候ハ、緯度ノ差アル故ニ、寒暖同ジカラズ、南地ハ、暖和ニシテ、冬月稀ニ氷雪ヲ見ル、北地ハ、寒冷ニシテ、冬春ノ交常ニ氷雪絶ヘズ、然レモ、同緯度ノ他邦ニ比スレバ、寒暖兩ナカラ酷烈ナリ、

人民

○人種ハ、如何、

人口ハ、如何、

人民ヲ何等トスルヤ

言語

○言語ハ、如何、

文章ハ、如何、

○書ヲ読ミ、文章ヲ綴ル

人民

○人民ハ、一般ニ、蒙古種ニ属ス、人口、大九三十四百万餘トス、之ヲ分テ三等トス、即チ華族士族平民是ナリ、

言語

○言語ハ、元自ラ國語アリシガ、中古以來支那ノ文字ヲ傳習セシヨリ、國語漢語相雜リ、又文章ニ至リテモ、五十音字ニ、漢字ヲ雜ヘテ、之ヲ用ウ、

教育

○書ヲ讀ミ、文章ヲ綴ルハ、昔時貴族ノミ之ヲ

昔日ハ如何、
當今ハ如何、

政体

○政体ハ如何、
三院ハ如何、
十省ヲ奉ケ
三院ノ上官
ハ如何、
省ノ上官ハ如何、

学ミテ、婦女子及ビ卑賤ノモノハ、之ヲ度外ニ置
キ、學ザリシガ、當今ニ至リ一萬有餘ノ學校ヲ設
ケ、貴賤ノ別ナク、之ニ入リテ學バシム、實ニ文學
ノ盛ナルヲ、我國未ダ嘗テアラザルナリ、

政體

○政体ハ、天皇親ラ大政萬機ヲ決シ玉ヒ、太臣参
議之ノ補佐タリ、正院、元老院、大審院、外務省、内務
省、大藏省、司法省、陸軍省、海軍省、宮内省、文部省、
省、工部省、ノ三院十省ヲ設ケ、正院ニ大臣参議
ヲ置キ、元老院ニ議長、参議官ヲ置キ、大審院ニ判吏、置

閣使ノ上官ハ如何、
府縣ノ上官ハ如何、
琉球ハ如何、

○教法ハ如何、
神教ハ如何、
佛教ハ如何、

キ省ニ御輔ヲ置キ各其事ヲ管セ、又地方ヲ三府五十九縣
ニ區別シ、又閣使ヲ設ケ、之ニ長官ヲ置キ、府ニ
知事ヲ置キ、縣ニ令ヲ置キ、各地方ノ事ヲ管轄セ
シム、而シテ、太政官之ヲ総制ス、琉球ハ藩トナシ、
其主ヲ藩主ニ封シ、之ヲ一等官ニ准ジ、其地方ヲ
治メシム、

教法

○教法ハ、神佛ノ二教アリ、神教ハ、我國固有ノ教
法ニシテ、太古ヨリ傳ルモノナリ、佛教ハ、印度ノ
教法ニシテ、欽明天皇ノ時百濟ヨリ傳來スルモ

人民ノ教法
ヲ信スルモ
人如何

ノナリ而シテ人民神教ヲ奉スルモノアリ、又佛
教ヲ信ズルモノアリ、或ハ神佛共ニ崇信スルモ
ノアリ、

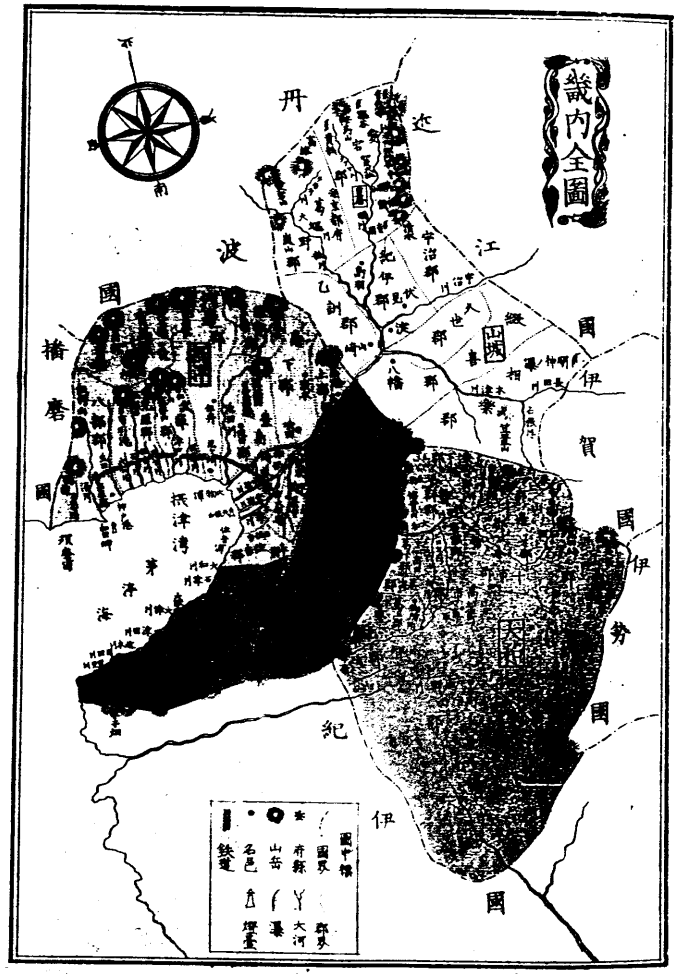
○教ヲ布ク
者ヲ分テ何
等トスルヤ
神官ハ如何

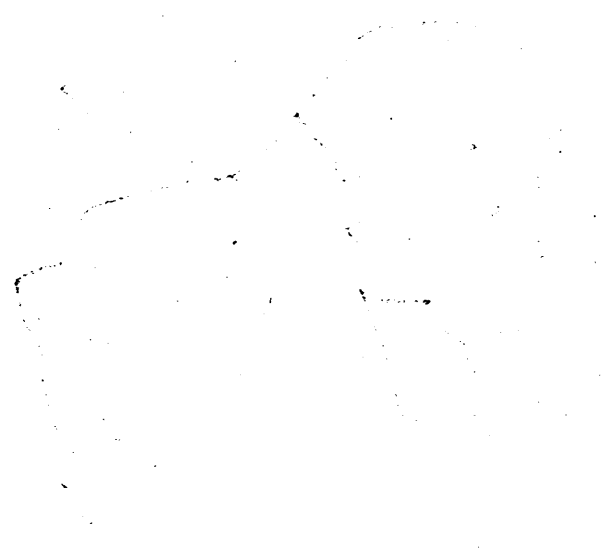
○教ヲ布クモノヲ、一般ニ教導職ト云フ、之ヲ分
テ、教正、講義、訓導ノ三等トス神ニ仕ル者ヲ、一般
ニ神官ト稱シ、之ヲ分テ、宮司、禰豆、主典、宮掌、祠官、
祠掌、ノ六等トス、

産物

○産物ハ、如
何

○鑛類、穀類、粟、蔬、木材、花卉、魚類、禽類、獸類、織物、茶、
蠶、紙、酒、塩、蠟、油、扇、漆器、陶器、錦、繪、等ナリ、





畿内ノ畧ノ問	
問京都府ハ、何處ニアリ	問大峯ハ、何處ニアリヤ、
ヤ、	問比叡山ハ、如何、
問大坂府ハ、何處ニアリ	問金剛山ハ、如何、
ヤ、	問芋停海ハ、何處ニアリ
問奈良縣ハ、何處ニアリ	ヤ、
ヤ、	問淀川ハ、如何、
問堺縣ハ、如何、	問大和川ハ、如何、
問兵庫縣ハ、何處ニアリ	問神戸港ハ、何處ニアリ
ヤ、	

○畿内總論
ハ如何

畿内總論

○畿内ハ、北、北陸道ニ枕ミ、西ハ、山陰山陽ノ兩道及
ビ海ヲ隔テ、沔路ニ接シ、南、南海道隣シ、東、東海道
ニ界ス、

○畿内ヲ分テ五國トシ、又更ニ之ヲ分テ、二府、
三縣、五十五郡トス、

○地形、南北稍々長ク、東西稍短シ、群峯重疊、三辺
ヲ圍ミ、獨リ西南ノ一帯、海ニ臨ム、山城大和ハ、峻
嶺連五シ、河内和泉摂津相接シタル處ハ、地勢平
坦也、

○北畝山ハ山城ノ東北隅ニ聳エ、愛宕山ハ西北
ニ在リテ、東西遙ニ相對ス、金峯山ハ大和ノ吉野
郡ニ聳ユル高山ナリ、金剛山ハ、河内ノ東南隅ヨ
リ、大和ノ葛城郡ニ跨ル、高山ニシテ、大和ニアリ
テハ、之ヲ葛城山ト云フ、

山

○北畝山ト
愛宕山ハ、如何
何、金峰山ハ、如何
何、金剛山ハ、如何

川

○淀川ハ、如何
何、其水源ハ、如何

○淀川ハ、畿内第一ノ大河ニシテ、水源三流ナリ、
一ハ、近江ノ琵琶湖ヨリ發シ、山城ノ宇治ニ至リ
宇治川トナリ、淀ニ至リ、淀川ト為ル一ハ、水源丹

其未流ノニ
派ハ如何

○大和川ハ
如何

土地ト氣
候

○土地ハ、如
何

波ヨリ發シ、山城ニ入り、大堰川トナリ、淀ニ至リ、
相會ス、一ハ、水源伊賀ニ發シ、山城ニ入り、木津川
トナリ、淀ニ至リ、淀川トナル、其末流、摂津ニ入り
テ、二派ニ分ツ、一ヲ安治川ト云ヒ、一ヲ神崎川ト
云フ、皆摂津灣ニ注ク、

○大和川ハ、大和ノ諸流ヲ併セテ、河内ニ入り、國
ノ中央ヲ西流シ、テ石川及ヒ天野川ヲ併セテ、和
泉、摂津ノ間ヲ過キ、茅渚ノ海ニ注ク、

土地ト氣候

○土地ハ、一般ニ肥沃ニシテ、氣候ハ、溫和、獨リ山

産物

○産物ハ、如
何

○石高ハ、如
何、人口ハ、如何

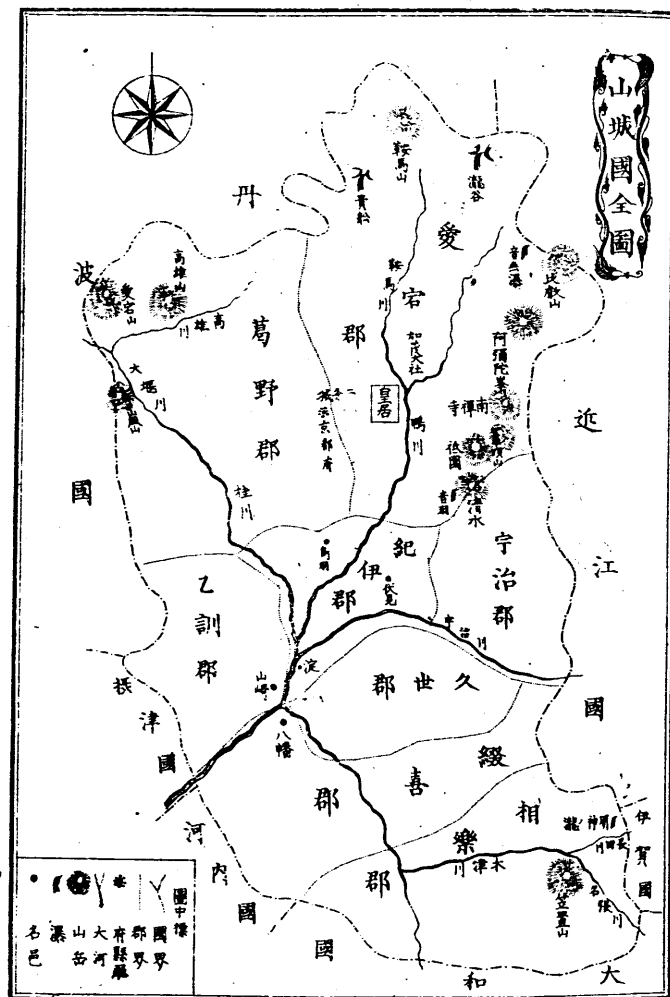
城ハ稍寒冷ナリ

産物

○産物ハ、機織、陶器、茶、漆、墨、葛粉、奈良麻布、河内木
綿、双器、酒、花剛石ヲ、最モ好シトス、

石高及ビ人口

○石高、大凡百六十一萬七百石餘、戸數、二百六萬
四千七百餘戸、人口、大凡二百八萬四千七百餘人、



山城國全圖

山城ノ畠ノ問

問山城，界，八，如何。

問京都府ハ何處ニアル

4.

問乙訓郡ハ何部ニアリ

+

問葛野郡ハ何處ニアリ

7.

問 愛宕郡ハ何處ニアリ

ヤ、

問紀伊郡ハ何處ニアル

7.

問宇治郡ハ何處ニアリ

7.

問久世郡ハ何處ニアリ

7.

問綴喜郡ハ、何処ニアリ

7

問相樂郡ハ何處ニアリ

7.

問淀ハ、何處ニアリヤ、
問北叡山ハ、如何、
問爰宕山ハ、如何、
問鞍馬山ハ、如何、
問宇治川ハ、如何、
問大堰川ハ、如何、
問鞍馬川ハ、如何、
問長田川ハ、如何、
問山崎ハ、何處ニアリヤ、
問八幡ハ、何處ニアリヤ、

問伏見ハ、何處ニアリヤ、
問宇治ハ、何處ニアリヤ、
問如茂ノ大社ハ、何處ニアリヤ、

山城国 位置 地形

○山城ハ何
枉ニアリ
山城ノ界ハ
如何

○山城ノ國ハ畿内ノ北部ニ位シ、北ハ丹波ニ界
シ、西ハ丹波及ヒ摂津ニ連リ南ハ河内及ヒ大和
ニ面シ、東南隅ハ伊賀ニ接シ、東ハ近江ニ隣ス、長
サ九十五里、幅九六里、

○國中ヲ分テ、何
郡ニ分テ、何
府之ヲ管轄ス
ルヤ
○地勢ハ如何

○國中ヲ分テ、乙訓、葛野、愛宕、紀伊、宇治、久世、綴喜、
相楽、ノ八郡トス、京都府皆之ヲ管轄ス、

○地勢、群密三面ヲ圍ミ、自ラ城ヲ成ス、曰テ山城
ト云フ、中央ハ平坦ニシテ、南面一方向ニ遜リテ
東ニ張ル、

郡村

○葛野郡ハ
如何
村數ハ如何

○葛野郡ハ、西北隅ニ位シ、丹波ニ接ス、郡中八十
村アリ、

○愛宕郡ハ
如何
村數ハ如何

○愛宕郡ハ、葛野ノ東ニシテ、東、近江ニ接ス、郡中
六十一村アリ、

○乙訓郡ハ
如何
村數ハ如何

○乙訓郡ハ、葛野ノ南ニシテ、西、丹波、摂津ニ界ス、
郡中五十村アリ、

○紀伊郡ハ
如何
村數ハ如何

○紀伊郡ハ、葛野ノ南、乙訓ノ東ニシテ、州ノ中央
ニアリ、郡中二十四村ト一町アリ、

○宇治郡ハ
如何

○宇治郡ハ、愛宕ノ南ニシテ、東、近江ニ接シ、南ハ、

村數ハ如何

○久世郡ハ如何

村數ハ如何

○綴喜郡ハ如何

村數ハ如何

○相樂郡ハ如何

村數ハ如何

○京都府如何

宇治川ヲ以テ久世郡ニ界ス郡中三拾九村アリ

○久世郡ハ紀伊宇治兩郡ノ南ニアリ郡中三十

七村ト二町アリ

○綴喜郡ハ久世乙訓ノ南ニシテ東ハ近江西ハ

河内ニ接ス郡中五十五村ト一町アリ

○相樂郡ハ東南隅ニシテ南大和ニ接シ東伊賀

近江ニ界ス郡中八十八村アリ

京都府

○府廳ハ葛野郡二条城ニアリテ全州及ヒ丹波

ノ船井何鹿桑田三郡ヲ管轄ス支廳ヲ淀童仙房

龜岡園部緩部ノ五所ニ置ク

山

○北畝山ハ如何

○北畝山ハ東北隅ニ聳ル峻山ニシテ近江ニ跨

○愛宕山ハ如何

○愛宕山ハ西北隅ニアリテ丹波ニ跨ル高山ナ

○鞍馬山ハ如何

○鞍馬山ハ此西山ノ間ニ屹立ス是國ノ正北也

○其他ノ諸山ハ如何

其他阿弥陀峯清水祇園華頂山南禪寺ノ諸山アリ此諸山東ニ連ルヲ以テ之ヲ総稱シテ東山ト云フ又高雄山嵐山ノ諸山ハ愛宕ノ麓ニアリテ

西境ニ連レリ、

瀑

○相樂郡ニ
アル大瀑ハ
如何、
愛宕ノ諸瀑
ハ如何、
葛野ノ瀑ハ
如何、
○國中瓦瀑多シ、最モ大ナルモノハ、相樂郡ニア
ル明神ノ大瀑ニシテ、高サ百五十丈アリ、名張川
ノ源ナリ、其他、愛宕郡ニ、樓門、音羽、滝谷、音無、龍王
ノ諸瀑アリ、又葛野郡ニ、空也ノ瀑アリ、皆十丈ニ
満タズ、

河

○鴨川ハ如何、
鴨川ハ、水源ニアリ、一ヲ鞍馬川ト云ヒ、鞍馬山
ニ發源ス、一ヲ八瀬川ト云フ、比叡山ヨリ發源ス、

○大堰川ハ
如何、

○宇治川ハ
如何、

○木津川ハ
如何、

此ニ水皆南馳シテ、加茂ニ至リ、相會シ鴨川トナリ、
又南流シ京都ヲ貫キ鳥羽ニ至リ大堰川ニ入ル
○大堰川ハ水源ヲ丹波ニ發シ、愛宕、葛野南東ニ
斜流シテ高雄川ヲ併セ其ヨリ南下シ鴨川合ス
○宇治川ハ、水源ヲ近江ノ琵琶湖ニ發シ、西南ニ
流レテ、宇治ヲ過キ、淀ノ北ヨリ淀川ニ入ル、
○木津川ハ、亦水源ニアリ、一ヲ長田川ト云ヒ、一
ヲ名張川ト云フニ水共ニ源ヲ伊賀ニ發シ、長田
川ハ、直ニ山城ニ入り、名張川ハ、大和ヲ歷テ、山城
ニ入り、二川笠置ノ麓ニ相會レ、木津川トナリ、相

○淀川ハ、如何

都邑

樂郡ノ中央ヲ横断シ、木津ニ至リ、其レヨリ波線ヲナシ、北、淀ニ到リテ、淀川ニ入ル、
○淀川ハ、鴨大堰、宇治、木津ノ四川、淀ニ相會シ、淀川トナリ、西流シ、攝津、河内、ノ間ニ入ル、

都邑

○京都ハ、如何
皇居ト二条城ハ、何處ニアリヤ、

○京都ハ、葛野、愛宕、ハ二郡ニ跨ル、大都ニシテ、三府ノ其一ナリ、本名ヲ平安城ト稱ス、九條ノ大路ヲ通シ、市街端正、皇居一条ニ位シ、二条城、二条ニアリ、当今、府廳之ニアリ、

○鴨川ニ架スル四大橋

○鴨川、京都ノ中間ヲ貫流シ、之ニ荒神口、三條、四

ハ、如何、河西及河東ヲ何ト云フヤ
○學校等ハ、如何

條、五條、ノ四大橋ヲ連架シ、河西ヲ、洛中ト云ヒ、河東ヲ、洛外ト云フ、
○傳信局アリ、博物館アリ、病院アリ、癲狂院アリ、書籍館アリ、女紅場アリ、其他、小學校ノ如キハ、區々ニ駢立ス、

○神社、佛閣ハ、如何
公園地ハ、如何

○神社、佛閣、甚タ多ク、其建築宏大美麗ナリ、又東山、嵐山、祇園、清水、等ノ公園地アリテ、山水ノ風色絶佳ナルヲ、三府ノ第一トス、

○人口ハ、如何
○伏見ハ、如何

○人口、大凡二十三萬八千六百餘人、
○伏見ハ、紀伊郡ニアル大邑ニシテ、市街、淀川ニ

日本地理書卷之十一

臨ミ、北路京都ノ市坊ニ連接シ、京阪ノ要路ニ当
ルヲ以テ、運輸頗ル便ナリ、人口大九二萬二千三
百餘人、

○淀ハ如何

○淀ハ、久世郡ニアル小都會一シテ、伏見ノ西ニ
位シ、城郭淀川ニ臨ミ、之ニ一橋ヲ架ス、小橋ト云
フ京都府ノ支廳アリ、人口、大九五千九百餘人

○宇治ハ如何

○宇治ハ、久世宇治ノ二郡ニ跨ル名邑ナリ、人口、
大九二千五百餘人、

八幡ハ如何

○八幡ハ、綴喜郡ニアル名邑ニシテ、人口、大九五
千人、

産物

○産物ハ如何

○野菜、川魚、織物、漆物、漆器、清水焼、松茸、筍、茶、菓子、
人形、光紅、白粉、糸物、針、扇、團扇等アリ

問野菜ハ如何

答大蕪、菁、土生菜、干房、胡蘿蔔、葱等アリ

問川魚ハ如何

答香魚、淀川鯉、鮒、鮓、ヒカヒ、ヒウオ、モロツコ
等ナリ

問織物ハ如何

答西陣織、錦欄、天鵲織、襦袢、襦子等ナリ

日本地理書卷之十一

問金峯山ハ、何處ニアリ

問高取ハ、如何、

ヤ、

問大臺山ハ、何處ニアリ

ヤ、

問天野川ノ下流ハ、如何、

問吉野川ハ、如何

問大和川ハ、何處ニ流レ

入ルヤ、

問郡山ハ、如何、

問龍田ハ、如何、

大和國 位置 地形

○大和ノ界ハ如何、

○大和國ハ、畿内ノ東南ノ部、分ニシテ、北、山城ニ接シ、西、河内ニ連リ、南紀伊ニ斗入シ、東、伊賀及ヒ伊勢ニ界ス、長サ九二十五里、幅、九十里余、

○國中ヲ何郡トナシ、何縣之ヲ管スルヤ

○國中ヲ分テ、添上、添下、平群、廣瀬、葛上、葛下、忍海、宇智、宇陀、城上、城下、高市、十市、山邊、吉野、ノ十五郡トス、奈良縣之ヲ管轄ス、

○地形ハ、如何

○地形、南北ニ長ク、東西ニ短シ、四境山嶺連亘シ、就中、南紀伊ニ接スルところ、群峯重疊、平地ヲ見ズ、中部ハ、稍平坦ニシテ、岡陵起伏セリ、

郡村

○添上ハ、如何

○添上郡ハ、州ノ北部ニシテ、北、山城ニ接ス、郡中百四十村ト一町アリ、

○添下ハ、如何

○添下郡ハ、添上ノ西ニシテ、北、山城ニ接ス、郡中七十四村ト一町アリ、

○平群ハ、如何

○平群郡ハ、添下ノ西南ニアリテ、西、河内ニ接ス、郡中八十三村アリ、

○山邊ハ、如何

○山邊郡ハ、添上ノ東南ニアリテ、東、伊賀ニ接ス、郡中百四十八村アリ、

○宇陀ハ、如何

○宇陀郡ハ、山邊ノ南ニアリテ、東、伊賀及ヒ伊勢

何、○城上ハ、如

ニ界ス、郡中百三十九村ト一町アリ、

何、○城下ハ、如

○城上郡ハ山邊ノ南ニシテ、内部ナリ、郡中五十
六村アリ

何、○十市ハ、如

○城下郡ハ、城上ノ西ニシテ、亦内部ナリ、郡中五
十三村アリ、

何、○廣瀬ハ、如

○十市郡ハ、城上城下ノ二郡ノ南ニアリテ、郡中
八十五村アリ、

何、○高市ハ、如

○廣瀬郡ハ、十市ノ西ニアリテ、郡中三十四村アリ、

何、○葛上ハ、如

○高市郡ハ、十市ノ南ニアリテ、郡中百二十一村
アリ、

何、○忍海ハ、如

○葛下郡ハ、高市ノ西ニシテ、郡中八十六村アリ、

何、○宇智ハ、如

○葛上郡ハ、忍海ノ南ニシテ、西、河内ニ接ス、郡中
六十二村ト一町アリ、

何、○吉野ハ、如

○忍海郡ハ、葛下ノ南ニアリテ、西、河内ニ接ス、郡
中二十村アリ、

○宇智郡ハ、葛上ノ南ニシテ、西、河内及ビ紀伊ニ
接ス、郡中六十三村アリ、

○吉野郡ハ、州ノ南部ニシテ、東西南三方、紀伊ニ
接ス、郡中三百二十五村ト一町アリ、

○奈良縣ハ如何

○奈良縣ハ、添上郡奈良町ニアリテ、全州ヲ管轄ス

○金峯山ハ如何

山

○金峯山ハ、吉野郡ニ、聳ユル峻山ニシテ、山脉南北ニ亘ル、國中第一ノ高山ナリ、

○大臺山ハ如何

○大臺山ハ、金峯山ニ次ク、高山ニシテ、吉野郡ノ東境ニ聳ヘ、伊勢ニ跨リ、山脉南ニ連リテ、伊勢、紀伊ヲ限ル、

○國見、高見ノ諸山、如何

○國見、高見ノ諸山ハ、東、伊勢ノ國境ニ連互ス、

○天岳ハ如何

○天岳ハ國見ノ北ニ聳ヘ、伊賀、伊勢ノ三國ニ跨ル、

○春日山ハ如何

○春日、三笠ノ諸山ハ、添上郡ニアル山ニシテ、其麓ヲ奈良トス、

○生駒、志貴ニ上、葛城ノ諸山ハ如何

○生駒、志貴、ニ上、葛城ハ諸山ハ、西、河内ノ國境ニ連綿ス、

○最大ノ瀑ハ如何

瀑

○國內、群峯連亘スルヲ以テ、飛瀑頗ル多シ、内最大ナルモノハ、吉野郡ニアル、中之瀑ニシテ、源ヲ大臺山ニ發シ、高サ、凡百五十丈、幅、拾五間アリ、

○三重ノ瀑ハ如何

○又同郡ニ、三重瀑アリ、高サ、五十四丈、幅、十間半アリ、龍ノ腹モ亦吉野ニアル、大瀑ニシテ、高サ、三

日本地理書卷之三

十六丈幅二間、十津川ニ注ク、

○高サ十丈ニ過ル瀑ハ如何

○其次ハ、龍門、蜻蛉三公、和泉、阿古、風屋、高ハ諸瀑ニ皆吉野郡ニアリテ、高サ十丈ニ過ク、

○其他ハ如何

○其他、山邊郡ニ布留ノ瀑アリ、葛上郡ニ俱尸羅瀑アリ、皆高十丈ニ滿タズ、

河

○天野川ハ如何

○天野川ハ、金峯山ノ陰ニ、發源シ、其山ニ沿ヒ、環流シ南ニ赴キ、十津川ト為リ、紀伊ニ入り、成川トナル、

○吉野川ハ如何

○吉野川ハ、大臺山ニ發源シ、西流シテ吉野郡ノ

○初瀬川ハ如何

ノ北部ヲ過キ、紀伊ニ入り、紀ノ川トナル、
○初瀬川ハ、城上郡ノ北隅ニ發シ、西流シ、北、奈良龍田ノ二川ト相會シ、南、相川及ビ、廣瀬川ヲ併セテ、大和川ト為リ、河内ニ入ル、

○奈良川ハ如何

○奈良川ハ、添上郡ノ北部ニ發源シ、衆流ヲ合セ、南流シテ、奈良郡山ヲ過キテ、初瀬川ニ合ス、

○相川及ビ廣瀬川ハ如何

○相川、及ヒ廣瀬川ハ、共ニ西境ニ發源シ、北ニ並流シ、亦初瀬川ニ入ル、

都邑

○奈良ハ如何

○奈良ハ、添上郡ニアル都會ナリ、元明天皇以下

以下七代七十餘年間ノ皇都ニシテ、平城ト云ヒ、又南都ト稱ス、

○春日大社
ハ如何、如何、
佛閣ハ如何、

○春日山ニ、官幣大社、春日神社アリ、山中鹿多シ、又東大寺、西大寺、興福寺等ノ大伽藍アリテ、皆宏

○龍田ハ、如何、

○龍田ハ、平群郡ニアル名邑ニシテ、東ニ、興隆寺ノ大伽藍アリ、西ニ、龍田川アリ、河岸楓樹多ク、晚秋ノ風景尤美ナリ、人口、一千六百四十餘人、

○郡山ハ、如何、

○郡山ハ、添下郡ニアル小都會ニシテ、人口、大九一万四千九百餘人、

○吉野ハ、如何、

○吉野ハ、吉野郡吉野川ノ南ニアリ、山中櫻樹多ク、季春ノ風景最モ佳ナリ、人口、大九一千四百餘人、

○高取ハ、如何、

○土佐町ハ、高市郡ニアル小都會ニシテ、高取ト云フ、人口、大九三千人、奈良ヨリ南此ニ至ルマテ、神武天皇以下曆朝ノ皇居、及ヒ山陵多ク、就中高市郡

畝傍山ハ、如何、
○高田ハ、如何、

ノ西ニアル、畝傍山ハ、神武天皇基業ノ地ナリ、
○高田ハ、葛下郡ニアル名邑ニシテ、人口、大九三千餘人、

○御所町ハ、如何、

○御所町ハ、葛上郡ニアル邑ニシテ、人口、大九三

千五百餘人、

○五條ハ如何

○五條ハ、宇智郡ニアル邑ニシテ、人口、大凡三千四百餘人、

産物

○産物ヲ挙ケヨ

○諸石、野菜、藥種、樹木、葷、川魚、吉野紙、墨、筆、吉野葛、酒、油、醬油、奈良人形、三輪素緬、漆、煙草等アリ、

問諸石ハ如何

答水晶、慈石、馬腦、白堊、雲母、砂、氷瀧石、金剛鑽

問野菜ハ如何

答燕菁、百合根、牛蒡、葱等

問藥種ハ如何

答當飯芍藥、地黄、大黃等

問樹木ハ如何

問葷ハ如何
答樺、榊、桃、柿、李、梨、橙、枇杷、密柑、栗等

問川魚ハ如何
答椎茸、岩茸、松茸等

問川魚ハ如何
答鯉、鮒、年魚等

問澁川郡ハ、何處ニアリ ヤ、	問金剛山ハ、何處ニアリ ヤ、
問志紀郡ハ、何處ニアリ ヤ、	問大和川ハ、如何、 問淀川ハ、如何、
問丹南郡ハ、何處ニアリ ヤ、	
問丹北郡ハ、何處ニアリ ヤ、	
問八上郡ハ、何處ニアリ ヤ、	

河内國

○河内ノ國
界ハ如何

○河内ノ國ハ、畿内ノ中央ニ位シ、北、山城ニ枕シ、
西、攝津及ヒ和泉ニ連リ、南、紀伊ニ接シ、東、大和ニ
界ス、長サ、大凡十三里、幅大凡四里、

○國中ヲ何
郡トナスヤ

○國中ヲ分テ、錦部、石川、古市、宿部、大縣、高安、河内、
讚良、茨田、交野、若江、淡川、志貴、丹南、丹北、八上ノ十
六郡トス、皆堺縣ニ屬ス、

○地形ハ、如
何

地形、南北ニ長ク東西、甚短シ、東ヨリ南ニ至リ、群
山連亘ス、西、攝津ニ界スル處、甚タ平坦ナリ、

郡村

○交野ハ、如
何

○交野郡ハ、州ノ北隅ニ位シ、東北、山城、大和ニ接
シ、西、淀川ヲ隔テ、攝津ニ界ス、郡中三十九村アリ、

○茨田ハ、如
何

○茨田郡ハ、交野、讚良ノ兩郡ノ西ニアリテ、西、攝
津ニ接ス、郡中六十九村ト二町アリ、

○讚良ハ、如
何

○讚良郡ハ、交野ノ南ニシテ、東、大和ニ接ス、郡中
三十四村ト一町アリ、

○若江ハ、如
何

○若江郡ハ、茨田ノ南ニシテ、西、攝津ニ接ス、郡中
六十四村ト一町アリ、

○河内ハ、如
何

○河内郡ハ、讚良ノ南ニアリテ、東、大和ニ接ス、郡
中二十八村アリ、

何、高安ハ、如

○高安郡ハ、若江ノ東ニアリテ、東、大和ニ接ス、郡中十四村アリ、

何、大縣ハ、如

○大縣郡ハ、高安ノ南ニシテ、東、大和ニ界ス、郡中十一村アリ、

何、安宿ハ、如

○安宿郡ハ、大縣ノ南ニシテ、東、大和ニ接ス、郡中四村ト一町アリ、

何、志貴ハ、如

○志貴郡ハ、大縣、安宿ノ西ニ位シ、州ノ内部ナリ、郡中二十二村アリ、

何、淡川ハ、如

○淡川郡ハ、若江ノ西ニシテ、西、摂津ニ接ス、郡中三十三村ト一町アリ、

何、丹北ハ、如

○丹北郡ハ、淡川ノ南ニシテ、西、摂津ニ接ス、郡中四十五村アリ、

何、丹南ハ、如

○丹南郡ハ、丹北ノ南ニシテ、西、紀泉ニ接ス、郡中五十二村アリ、

何、八上ハ、如

○八上郡ハ、丹北、丹南ノ間ニアリ、西、紀泉ニ接ス、郡中十一村アリ、

何、古市ハ、如

○古市郡ハ、安宿郡、志貴二郡ノ南ニシテ、東、大和ニ界ス、十三村ト一町アリ、

何、石川ハ、如

○石川郡ハ、古市ノ南ニシテ、東、大和ニ界ス、郡中四十六村ト一町アリ、

○錦部ハ、如何

○錦部郡ハ、州ノ南部ニシテ、南紀伊ニ接シ、西和泉ニ界シ、南方東一点、大和ニ枕ハ、郡中四十九村アリ、

山

○金剛山ハ如何

○金剛山ハ、東南隅ニ聳エ、大和ニ跨ル高山ナリ、而シテ、大和ニアリテハ、之ヲ葛城ト云フ、

○南紀伊界ノ山ハ、如何

○九重峠、藏王峠、天野山、ノ諸山ハ、南紀伊ノ境ニ連亘ス、

○千早嶺ハ、如何

○千早嶺ハ、金剛山ノ西南ニ峙テル峻險ナリ、楠公ノ城趾アリ、

○東境ノ山ハ、如何

○篠峰、二上岳、龜瀨嶺、高安山、十三峠、暗嶺、ノ諸山ハ、東境ニ連綿ス、

○山城境ノ山ハ、如何

○国見山、荒坂嶺、洞ヶ嶺ノ諸山ハ、北、山城ノ境ニ峙立セリ、

瀑

○国中、大瀑ナシ、交野郡ニ元寺ノ瀑アリ、河内郡ニ、長尾ノ瀑アリ、錦部ニ潮瀑カサキ、光瀑ミツアリ、皆高サ十丈ニ満タザルモノナリ、

池

○秩山池ハ、丹南郡ノ南部ニアリテ、崇神天皇ノ

○大和川ハ、如何、

時ニ堀ル、

○石川ハ、如何、

○大和川ハ、大和ヨリ来リ、國中ヲ横截ス、而レテ南石川及ヒ、天野川ト相會シ、摂津和泉ノ間ニ入ル、

○天野川ハ、如何、

○石川ハ、上流ニアリ、一ハ、東條川ト云ヒ、千早嶺ニ発源ス、一ハ、西條川ト言ヒ、藏王嶺ニ起リニ水東西相會シ、北流シテ、大和川ニ入ル、

○長瀬川ハ、如何、

○天野川ハ、天野山ニ発源シ、北流シテ、狹山ノ池ニ入リ、再ヒ出テ北ニ赴キ、大和川ニ注ク、

○淀川ハ、如何、

○長瀬、玉串ノ二川ハ、大和川ノ分派ニシテ、西北ニ赴キ、哮カ峯ニ発源シタル寢屋川ト相會シ、

○舟橋川、交野川ハ、如何、

西流シテ、摂津ニ到リ、淀川ニ注ク、

○天ノ川ハ、如何、

○淀川ハ、山城ヨリ来リ、舟橋川、交野川及ビ、天ノ川ヲ併セテ、西南ニ赴キ、摂津ニ入ル、

名邑

○牧方ハ、如何、

○舟橋川、及ビ交野川ハ、山城ノ境ニ發源シ、楠葉ノ南ヨリ、淀川ニ注ク、

增補地理書

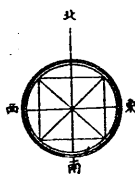


○久宝寺ハ、澁川郡ニアル名邑ニシテ、人口、二千餘人、

○畠田林ハ、石川郡ニアル名邑ニシテ、人口、二千餘人、

産物

○酒、木綿、綿、茶、守口大根、道明寺子飯、煙草、松茸、于瓢、平野飴、金剛沙、等ヲ出ス、



和泉

問和泉ノ界ハ如何

問堺縣ハ何處ニアリヤ

問大島郡ハ何處ニアリヤ

ヤ

問和泉郡ハ如何

問日根郡ハ何處ニアリ

ヤ

問泉南郡ハ何處ニアリ

和泉國

○和泉ノ界
ハ如何

○國中ヲ分
テ何郡ト為
スヤ

○地形ハ、如
何

○大鳥ハ、如
何

和泉國 位置 形勢

○和泉ノ國ハ、畿内ノ西部ニ位シ、北、摂津ニ接シ、西、
茅渚海ニ枕シ、南、紀伊ニ連リ、東、河内ニ界ス、長九
六里、幅四里

○國中ヲ分ツテ、大鳥、和泉、日根、泉南ノ四郡トス、
皆堺縣ニ屬ス、

○地形、南北長ク、東西短シ、紀伊ニ接スル處、山嶺
多ク、其餘皆平易ナリ、

郡村

○大鳥郡ハ、州ノ北部ニシテ、東、河内ニ接シ、北、摂

津ニ界ス、郡中百三村ト二町アリ、

○和泉郡ハ、大鳥ノ南ニシテ、東、河内及ヒ紀伊ニ
接ス、郡中八十二村ト一町アリ、

○泉南郡ハ、和泉ノ南ニシテ、東、紀伊ニ接ス、郡
中七十三村ト二町アリ

○日根郡ハ、泉南ノ南ニシテ、東、南紀伊ニ接ス、郡
中七十五村ト二町アリ、

縣

○堺縣ハ、大鳥郡堺ニアリ、河内、和泉ノ兩國ヲ管
轄ス、

○和泉ハ、如
何

○泉南ハ、如
何

○日根ハ、如
何

○堺縣ハ、如
何

山

○妙見山ハ如何、牛龍ハ如何、葛城ハ如何、

○日根郡ニアル山ハ如何、

湖

○國中ノ小湖ハ如何、

○萬願寺ノ滝ハ如何、

山

○妙見山ハ、大鳥郡ニ峙シ、旗尾、牛龍ノ諸山ハ、和泉郡ニアリテ、紀伊界ニ連リ、葛城ハ、泉南郡ニ聳ヘ、紀伊ニ境ス、

○犬鳴、井関、箱作、孝子畑、等ノ諸山ハ、日根郡ニアリテ、紀伊境ニ連綿ス、

湖

國中ニ、小湖ニアリ、一ヲ久米田地ト云フ、泉南郡ニアリ、一ヲ青地ト云フ、日根郡ニアリ、

瀑

牛滝ハ如何、大鳴山瀑ハ如何、

河

○石津川ハ如何、

○大津川ハ如何、

○國內、飛瀑少シ、和泉郡ニ、萬願寺ノ瀑アリ、源ヲ旗尾山ニ叢シ、高サ、二十一丈、幅、五間アリ、又同郡ニ牛龍アリ、高サ、十八丈、幅、二間、日根郡ニ、犬鳴山七龍アリ、

○石津川ハ、妙見山ニ発源シ、西流シ、石津ニ至リ、海ニ入ル、

○大津川ハ、牛瀧、春木、旗尾ニ発源シ、三水西流シ、遂ニ相會シテ、大津川トナリ、大津ノ南ヨリ、海ニ朝ス、

○津田川ハ、
如何、

○津田川ハ、葛城山ニ發源シ、西流シ岸和田ノ南ヨリ、海ニ注ク、

○近木川ハ、
如何、

○近木川ハ、日根郡ノ東ニ、發源シ、西流シテ、海ニ入ル、

○岡田川ハ、
如何、

○岡田川ハ、犬鳴山ニ發源シ、西流シ岡田川ニ到リ、海ニ落ル、

○男里川ハ、
如何、

○男里川ハ、葛川畑ニ發源シタル、落合川西流シ、南ノニ水ヲ併セテ、男里川トナリ、海ニ入ル、

○大和川ハ、
如何、

○大和川ハ、河内ヨリ来リ、北境ヲ西流シ、堺浦ニ到リ海ニ朝ス、

都邑

○堺ハ、如何、

都邑

○堺ハ、大和川ノ南ニアリテ、往昔ハ、外國ノ互市場ニシテ、古來有名ノ港津ナリシカ、今日ハ、港津淺ク、大船艀船ニ便ナラス、然レモ紀伊ニ通ル要路ニシテ、運漕ノ便、亦全ク欠クナシ、

○岸和田ハ、
如何、

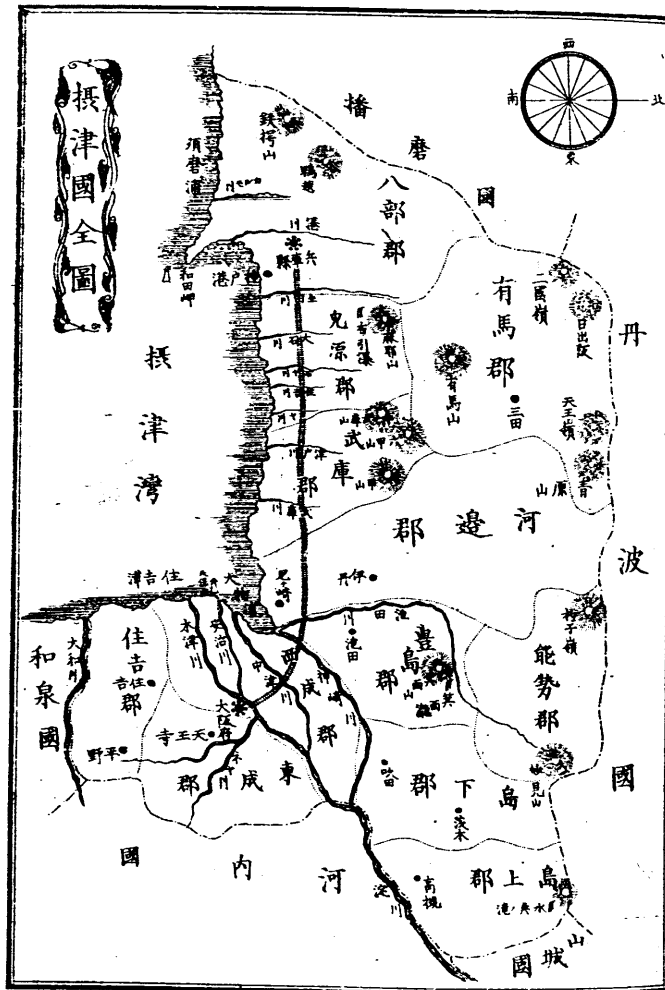
○岸和田ハ、泉南郡ノ西ニアル都邑ニシテ、亦紀伊ニ通ズル要路ナリ、人口、八千八百餘人アリ、

○大津ハ、如何、

○大津ハ、和泉郡ニアル邑ニシテ、人口、二千餘人、

○貝塚ハ、如何、

○貝塚ハ、亦泉南郡ニアル邑ニシテ、人口四千二百餘人アリ、



○尾崎ハ如何

○産物ヲ挙ケヨ

○尾崎ハ、日根郡ニアル邑ニシテ、人口、二千餘人アリ、

産物

○鐵器、朱、丹、茶、織物、酒、櫛、魚類、貝類、線香、油等、ナリ

鉄器ハ、如何、鋸、刀、鉋、刀等、ナリ

魚類ハ、如何、鯛、鰯、鰱、鰪、アサギ、等ナリ、

貝類ハ、如何、蛸、蛸、蛸、蛸、等ナリ、

織物ハ、如何、絹、絹、絹、絹、等ナリ、

答、白、木綿、紋羽、袋、真田、等ナリ、

攝津ノ畠ノ問	
問、攝津ノ界ハ如何、	問、能勢郡ハ何處ニアリ
問、大坂府ハ何處ニアリ	問、有馬郡ハ何處ニアリ
問、兵庫縣ハ何處ニアリ	問、八部郡ハ何處ニアリ
問、島上郡ハ何處ニアリ	問、武庫郡ハ何處ニアリ
問、島下郡ハ如何、	問、免原郡ハ何處ニアリ
問、川邊郡ハ何處ニアリヤ、	

日本書紀卷之二十一

三

問豊島郡ハ、何処ニアリ	問神戸ハ、何処ニアリヤ、
ヤ、	問高槻ハ、何処ニアリヤ、
問西成郡ハ、何処ニアリ	問尼崎ハ、何処ニアリヤ、
ヤ、	問大和川ハ、如何
問東成郡ハ、何処ニアリ	問鉄道ハ、如何、
ヤ、	
問住吉郡ハ、何処ニアリ	
ヤ、	
問大坂城ハ、何処ニアリ	

摂津司

○摂津ノ国
界ハ如何

摂津國 位置 地形

○摂津ノ国ハ、畿内ノ西部ニ位シ、北、丹波及ヒ山城ニ接シ、西、播磨ニ隣シ、南方西大半海灣ヲ受ケ、東ノ一部、和泉ニ界シ、東、山城及ヒ河内ニ連ル、長さ、九十一里、幅九九里、

○國中ヲ分テ、何郡ニ分ケレヤ、
諸郡何府縣ニ属スルヤ、

○地形ハ、如何、

○國中ヲ分テ、島上、島下、豊島、能勢、西成、東成、住吉、武庫、免原、川邊、有馬、八部ノ十二郡トス、上七郡、大阪府ニ属シ、下五郡ハ、兵庫縣ニ属ス、
○地形、北廣ク、南狹シ、西北、山嶺重疊ス、東南、河内和泉ニ接スル処、地勢平易ナリ、

郡村

○島上ハ、如何、

○島下ハ、如何、

○豊島ハ、如何、

○熊勢ハ、如何、

○西成郡ハ、如何、

○島上郡ハ、州ノ東北隅ニ位シ、東山城ニ接シ、南淀川ヲ以テ、河内ニ界ス、郡中六十村ト二町アリ、
○島下郡ハ、島上ノ西ニシテ、北、丹波ニ接ス、郡中百三村ト二町アリ、
○豊島郡ハ、島下ノ西ニシテ、州ノ内部ナリ、郡中八十七村ト一町アリ、
○熊勢郡ハ、島下ノ西ニシテ、北、丹波ニ接ス、郡中四十村アリ、
○西成郡ハ、東成ノ西ニシテ、西、海ニ臨ム、郡中百

○東成ハ、如何、

○住吉ハ、如何、

○武庫ハ、如何、

○鬼原ハ、如何、

○川邊ハ、如何、

二十四村ト二町アリ、
○東成郡ハ、西成ノ東ニシテ、南、住吉郡ニ接シ、東、河内ニ界ス、郡中五十八村ト一町アリ、
○住吉郡ハ、州ノ南隅ニシテ、南、大和川ヲ以テ、和泉ニ界ス、郡中五十六村ト二町アリ、
○武庫郡ハ、河邊ノ西ニアリテ、南、海ニ臨ム、郡中五十六村ト一町アリ、
○鬼原郡ハ、武庫ノ西ニシテ、南、海ニ枕ム、郡中五十一村アリ、
○川邊郡ハ、豊島ノ西ニシテ、北、丹波ニ接ス、郡中

○有馬ハ、如何、

百七十八村ト二町アリ、

○有馬郡ハ、河邊ノ西ニシテ、西、播磨ニ接ス、北、丹波ニ界ス、郡中九十四村ト二町アリ、

○八部ハ、如何、

○八部郡ハ、菟原ノ西ニシテ、西、播磨ニ接ス、郡中三十八村ト二町アリ、

大坂府

○大坂府ハ、如何、

○府廳ハ、田成郡江子島ニアリテ、島上、島下、豊嶋、能勢、西成、東成、住吉、ノ七郡ヲ管轄ス、

兵庫縣

○兵庫縣ハ、如何、

○縣廳ハ、八部郡、神戸松屋町ニアリテ、河邊、武庫、

○北境ニ連
豆スル山ハ、如何、

○武庫郡ノ
山ハ、如何、

○麻耶山ハ、如何、

○有馬山ハ、如何、
○險路ハ、如何、

菟原、八部有馬ノ五郡ヲ管轄ス、
山

○三國嶺、日出坂天王嶺、青原山、杵子嶺、妙見山ノ諸山ハ、北境ニ連豆シ、丹波ヲ限レリ

○武庫、六甲、甲ノ諸山ハ、武庫郡ニ聳ヘ、山脈東西ニ豆ル、

○麻耶山ハ、菟原郡ニ聳ヘ、其麓ニ禰瀑アリ、布列滝ト云フ、

○有馬山ハ、有馬郡ニ峙立シ、温泉ヲ生シ、病ヲ療、
○其他、八部郡ニ、鉄拐山、鴨越、ノ險路アリ、

海岸

○須磨浦ハ如何

海岸

○須磨浦ハ、八部郡ノ南海濱ニシテ、播磨ニ接スル処ナリ、南海ヲ隔テ、淡路ノ繪島ニ遙對シ、風色尤佳ナリ、

○和田岬ハ如何

○須磨ノ東ニアタリテ、一岬アリ、和田岬ト云フ、

○天保山ハ如何

岬頭東ヲ指ス、燈臺アリ、赤色光達スル五里餘、

○住吉浦ハ如何

○安治川ノ口、天保山アリ、亦燈臺ヲ建ツ、白色光達スル五里餘、其南住吉ノ海濱ヲ住吉浦ト云フ、官幣大社住吉神社アリ、

瀑

○大瀑ハ如何

○國內大瀑ノ大ナルモノナシ、獨リ箕面ノ瀑ハ

小瀑ハ如何

源ヲ箕面山ニ發シ、高サ十一丈、幅三間アリ之ヲ州ノ大瀑トス、其他、島上郡ノ水無瀬瀧、豊島郡ノ石澄滝、河邊郡ノ最明寺瀑、菟原郡ノ布引瀑有馬郡ノ鼓ヶ瀑、皆高十丈ニ滿ザル小瀑ナリ、

川

川

○淀川ハ如何
江口ヨリ支流スル川ハ如何
長柄ニ到リ合流スル河如何

○淀川ハ、山城ヨリ来リ、河内ノ境ニ沿フテ西流シ、江口ニ到リ分流ス、北ヲ神崎川トス、南正流ハ長柄ニ到リ、亦分流スルヲ中津川トス、亦西流シテ、海ニ朝ス、正流ハ東成郡ニ沿フテ、南流シ、野田

木津ハ、如何、

安治川ハ、如何、

池田川ハ、如何、

其他ノ諸川ハ、如何、

大坂ハ、如何、

一到リ、寢屋交野ノ諸流ヲ合セ、大坂府ヲ横断シ

テ、西南ニ赴キニ次トナリ、海ニ注ク、南ヲ木津川

トシ、北ヲ安治川トス

○池田川ハ、丹波ノ境ナル、妙見山ニ發源シ、其面

石澄、等ノ瀑布ノ下流ヲ集メ、南流シテ、神崎ニ入ル

○武庫川、津戸川、芦屋川、住吉川、石屋川、大石川、生

田川、漆川、刈藻川、等ノ諸川ハ、平時水ナク、雨後武

庫、菟原、八部、ノ西部ヨリ發源シ、東流シ海ニ入ル

都邑

○大坂ハ、東成西成ハ、西郡ニ跨ル、大都會ニシテ

三大橋ハ、如何、

○学校ハ、如何、

鐵道ハ、如何、

一ニ浪華ト稱ス、三府ノ一ナリ、淀川其中間ヲ貫

流シ、之ニ難波、天満、天神ノ三大橋ヲ架ス、東ニ、大

坂アリ、鎮臺之ニ營ス

○造幣寮アリ、病院アリ、師範学校及ビ語学校ア

リ、小學校ノ如キハ、區々ニ設ケ、其宏大美麗ナル

ヲ、我國第一トス、又鐵道ヲ架シ、神戸ニ通シ、海車

ヲ走ラセ、淀川ニ氣船ヲ浮メテ、伏見ニ往來ス、又

近日京都ニ達スル、鐵道落成スト云フ、

○淀川ノ北ニ天満宮アリ、河南ニ、生玉、高津、座摩ノ諸社アリ、又天王寺ノ巨刹アリ、皆之ヲ公園トス、

何、府内ハ、如

○府内街衢端正、溝渠縱橫疏通、橋梁多シ、西部ニ松島アリ、外國ノ五市場トス且ツ、西海南海及ヒ中國ノ要路ニアタルヲ以テ、高船河口ニ輻湊シ、運輸ノ便皇國第一トス、

何、神戸ハ、如

○人口凡七萬八千七百餘人

○神戸ハ、五大埠頭ノ一ニシテ、八部郡ノ南端ニ位ス、灣内、洋艦、和船、輻湊シ、貿易ノ盛ナルヲ、横濱ニ亞クト云フ、

○天王寺ハ、如何、

○人口、大凡四万九百餘人、

○天王寺ハ、東成郡ニアル名邑ニシテ、人口、一万

何、平野ハ、如

六十餘人、巨剎アリ、天王寺ト云フ、厩戸皇子ノ建立ナリ、

何、住吉ハ、如

○平野ハ、住吉郡ニアル邑ニシテ、人口、六千七百餘人、

何、高槻ハ、如

○住吉ハ、住吉郡ニアル邑ニシテ、人口、三千六百餘人、官幣大社アリ、住吉ノ神社ト云フ、

何、茨木ハ、如

○高槻ハ、島上郡ニアル邑ニシテ、人口、四千二百餘人、

○茨木ハ、島下郡ニアル邑ニシテ、人口、二千四百餘人、

何、吹田ハ、如何、

何、池田ハ、如何、

何、尼崎ハ、如何、

何、伊丹ハ、如何、

何、三田ハ、如何、

○吹田ハ、島下郡ニアリテ、人口、三千三百餘人、
○池田ハ、豊島郡ニアル邑ニシテ、人口、五千百餘人、

○尼崎ハ、河辺郡ニアル城邑ニシテ、人口、一萬二千四百餘人、

○伊丹ハ、亦夕河邊郡ニアリテ、人口、三千五百餘人、

○三田ハ、有馬郡ニアル邑ニシテ、人口、二千三百餘人、

産物

何、産物ハ、如何、

○酒、棉、木綿、種油、御影石、池田炭、魚類、野菜、薄雪昆布、等ナリ、

問、魚類ハ、如何、

答、鰯、魚、鰯、海鰻、鰯、其他、蛤、蛸、等ノ貝、券アリ、

野、菜ハ、如何、
答、野菜ハ、蘿蔔、鵝、殿、天王寺、蕪、菜、等アリ、

畿内略史

畿内ノ畧史

○神武天皇日向ヲ護シ、紀元前三年戊午航シテ浪速ニ抵リ、流ニ溯リ、河内ニ至リ、大和ニ入リ、龍田ニ赴ク、路險隘通セザルヲ以テ、退ヒテ東生駒山ヨリ大和ニ入リ、長髓彦ヲ孔舍阪ニ撃ツ、皇軍利アラズ、皇庖兄五瀬命流矢ニ

阿タリ斃ス、天皇軍ヲ退ケ、紀伊ヨリ兵ヲ潛メテ吉野ニ入リ、進ンテ八十梟師ヲ、國見岳ニ破リ、之ヲ斬ル、進ンテ長髓彦ヲ攻ム、饒速日長髓彦ヲ殺シテ、來リ降ル、紀元前二年、大和ヲ平定シ、橿原ノ

宮ニ即位シ玉フ

○武埴安彦ヲ討スルヲ如何

○二皇子ノ反ハ如何

○五百七十四年、癸巳武埴、安彦及ス、山背ヨリ大和ニ入リ、妻吾田ハ大坂ヨリ進ミ、共ニ京師ヲ襲ントス、崇神天皇、即チ五十狹若彦、大彦命及ビ彦國葦ニ命シ、之ヲ討セシム、五十狹若彦、吾田ヲ大坂ニ邀ヘ、テ之ヲ斬ル、大彦命、及ビ彦國葦安彦ヲ輪韓川ノ南ニ破リ、之ヲ殺ス

○八百六十一年、辛巳、薨坂、忍熊ノ二皇子反ス、薨坂暴ニ斃ス、忍熊住吉ニ軍ス、神功皇后直ニ舟師ヲ帥テ浪速ニ向フ、忍熊退ヒテ、山背ノ菟道ニ陣

忍熊ノ死ハ
如何

○高津ノ宮
ハ如何

○蘇我馬子
物部守屋ト
隙ヲ生スル
ヲ如何

馬子ノ皇子
及ヒ守屋ヲ
殺スコト如
何

○入鹿蝦夷
ノ誅ニ伏ス
ルヲ如何

○大海人兵
ヲ奉ケルヲ
如何

ス皇后帝ト相會シ、忍熊ヲ撃ツ、忍熊敗走シテ、淡路ノ瀬田ニ死ス、

○九百七十三年、癸酉、仁德天皇、皇都ヲ難波高津ノ宮ニ遷ス、

○一千二百四十七年、丁未、用明天皇不豫ナリ、厩戸皇子侍坐シ、經ヲ誦シ、佛ヲ祈ル、帝佛ニ皈セント欲ス、其例ナキヲ以テ、群臣ヲ召シ議ス、物部守屋中臣勝海、執テ不可ナリトス、蘇我馬子、僧ヲ誘ヒテ宮ニ入ル、是ヨリ蘇我馬子、物部守屋ト隙アリ、夏四月、帝崩ス、繼嗣未タ定マラズ、守屋穴穗部皇子

ヲ立ント欲ス、馬子兵ヲ遣シテ、皇子ヲ殺シ、遂ニ守屋ヲ淡川ノ内第ニ圍ム、守屋稻城ヲ築キ、之ヲ禦ク、厩戸皇子ノ臣赤檮射テ守屋ヲ殺ス、

○一千三百五年、乙巳、中大兄皇子、中臣鎌足、及ヒ倉山田、石川麻呂、ト謀リ、蘇我入鹿ヲ大極殿ニ誅ス、又兵ヲ遣リテ、其父蝦夷ヲ誅ス、

○一千三百三十二年、壬申、六月、大海人兵ヲ吉野ニ起ス、大伴吹負、大和ニ在リテ、之ニ應ス、秋七月、大海人ノ兵、京軍ヲ敗ル、天皇崩ス、大海人位ニ即ク、是ヲ天武天皇トス、

○何国ノ我
郡ヲ割テ和
泉ヲ置キレ
ヤ

○聖武天皇
東大寺ニ何
ヲ造リシヤ

○桓武天皇
都ヲ何處ニ
遷シ何ト云

フヤ、
山背ヲ改メ
山城トスル
コト如何

○崇徳上皇
ノ兵ヲ奉ケ

○一千三百七十六年、丙辰河内ノ三郡ヲ割テ和泉ヲ置ク、

○一千四百二年、丙戌聖武帝、敕シテ、金銅盧舍那佛ヲ、東大寺ニ造ル、今俗ニ之ヲ奈良ノ大佛ト稱ス、

○一千四百五十四年、甲戌、十一月、桓武天皇、都ヲ山背ニ遷シ、平安城ト云フ、詔シテ曰ク、此地ノ形勝、山河襟帶、自然ニ城ヲ成ス、宜シク山背ヲ改メテ、山城ト云ベシト、是ヨリ山背ヲ改メテ、山城ト云フ、

○一千八百十五年、乙亥、近衛天皇崩ス、帝嗣ナシ、

シ欲スルヲ、
如何、ン

法皇崩ス、上
皇ヲ入レド
ルヲ如何

上皇白河殿
ニ拠リ、兵ヲ
召スヲ如何

崇徳上皇、位ニ復セント欲ス、然ラズンハ、其長子重仁ヲ立ント欲ス、而シテ重仁長シテ、覽中外亦意ヲ属ス、然ルニ、美福門院、帝ノ早世ヲ以テ、上皇ノ兇詛ニ出ルト为シ、法皇ニ勸メ、帝ノ異母弟雅仁ヲ立ツ、是ヲ後白河天皇トス、上皇憤恚シ、左大臣頼長ト議シ、兵ヲ奉ケントス、偶々法皇崩ス、即夜之ヲ葬ル、上皇、入臨シ門ニ及ブ、右衛門權佐藤原惟方、遺詔ト称シ拒テ上皇ヲ納レズ、上皇大ニ恚リ、還リテ白河殿ニ拠リ、諸国ノ將士ヲ誘召ス、帝檢非遣使ヲ、近畿ノ諸路ニ遣リ、兵士ノ浴中ニ

為義ノ諸子
ハ如何

白河殿ノ戰
ハ如何

○信賴義朝
ト相結コト

如何

三條殿ノ四
ハ如何

帝及上皇ノ
逃ルハ如何

入ル者ヲ捕ヘシム、賴長宇治ヨリ間道ヲ経テ、田
中殿ニ至ル、參議教長以下ノ將士一千餘人來リ
集マル、又源為義、呂為義再三辞ス、之ヲ強ニ、是、
為義其諸子賴賢、賴仲、為成、為仲、為朝、ヲ率ヰテ至
ル、帝亦源義朝、平清盛、重盛以下ノ將士ヲ召シ、守
護セシム、十一日、帝三條殿ニ御ス、関白忠通以下
皆從フ、源義朝、平清盛、及ヒ重盛ヲ遣シ、白河殿ヲ
攻シム、上皇大ニ敗レ、如意山ニ走ル、賴長流矢ニ
中リ薨ス、是ヲ保元ノ乱ト云フ、

○是ヨリ、清盛龍遇日ニ優渥、義朝等之ヲ除ント

欲ス、偶マ藤原信賴、上皇ノ寵ヲ受ケ、近衛大将タ
ランヲヲモトム上皇コレヲユルサントス、少
納言信西之ヲ拒ム、信賴大ニ之ヲ怨ミ、義朝ト相
結ヒ、乱ヲ作サントス、一十八百十九年、己卯、清盛、
重盛、熊野ニ往ク、信賴、義朝此處ニ聚シテ、兵ヲ洗
シテ、夜三條殿ヲ圍ミ、小納言信西ヲ殺シ、上皇及
ヒ、帝ヲ宮中ニ幽ス、信賴自ラ大臣大将ト为リ、諸
政ヲ專決シ、義朝ヲ以テ播磨守トス、清盛愛ヲ聞
キ、遽ニ還リ之ヲ救フ、帝宮人ノ服ヲ著テ夜ニ乘
シ、潛ニ六波羅ニ幸ス、上皇亦仁和寺ニ逃ル、帝清

義朝ノ死ハ
如何

○源三位頼
政憤懣ハ如
何

頼政何王ヲ
奉ジ義兵ヲ
率クヤ
王令旨ハ
如何
頼政王ヲ奉
シテ何處ニ
據リレヤ

頼政ノ敗ハ
如何

○清盛都ヲ
何處ニ遷セ
シヤ

○平氏ノ西
走ハ如何

日本地理書卷之十一

盛重盛ヲシテ之討セシム源義平頼朝ヨク防禦
ス然レトモ軍遂ニ敗レ義朝尾州ニ走リ長田忠
致ニ殺サレ頼信誅ニ伏ス是ヲ平治ノ乱ト云フ
○一千八百四十年庚子五月源三位頼政以仁王
ヲ奉ジテ兵ヲ起シ平氏ヲ討ズ頼政平治ノ乱ニ
族ヲ拔テ飯順ス而シテ位其望ミニ満タス其子
仲綱平宗盛ニ凌辱セラレ頼政憤懣ス一日頼政
高倉宮ニ詣リ王ヲ勸ムルニ義兵ヲ率ルヲ以テ
ス王喜ビ之ヲ許ス藏人源行家ヲシテ王ノ令旨
ヲ以テ東國ニ赴キ諸源ヲ諭サシム此ニ於テ所

在ノ源氏響ノ如ク應ス其報京師ニ至ル清盛大
ニ驚キ兵ヲ遣シ高倉ノ宮ヲ圍マシム王已ニ園
城寺ニ逃ル頼政王ヲ奉シテ南都ニ走リ平等院
ニ據リ據ヲ徹シテ陣ス平和盛等二万騎ヲ以テ
来リ攻メ之ヲ破ル頼政仲綱自殺ス王逃レ流矢
ニアタリテ斃ス

○六月清盛奏シテ都ヲ福原ニ遷ス十一月清盛
帝ヲ奉シテ復平安ニ都ス

○一千八百四十三年癸卯源義仲行家路ヲ分テ
京師ニ至ル宗盛大ニ恐レ族ヲ率ケテ西國ニ奔

日本地理書卷之十一

法皇ノ義仲ヲ厭ヲ、如何

○法皇ノ義仲ヲ討ズルヲ如何、義仲ノ暴虐ハ如何

○義仲ノ戦死ハ如何

ル、法皇義仲ニ救シテ、平氏ヲ討セシム、義仲糧ニ乏シキヲ以テ、遷延未ダ獲セズ、京畿ヲ掠畧ス、法皇稍之ヲ厭ヒ、頼朝ヲ引ヒテ之ヲ除カントス、義仲微ク之ヲ聞キ、愕バズ

○義仲京師ニ在リテ、驕暴益甚クシ、法皇遂ニ敵山、園城、ノニ寺ノ僧徒ヲ徴シ、平知康ヲ以テ、將タラシメ、義仲ヲ討ス、義仲怒リ、法澄寺殿ヲ圍ミ、之ヲ焚ク、法皇ヲ幽シ、公卿以下四十餘人官爵ヲ奪シ、
○一千八百四十四年、庚辰、正月、頼朝、範頼、義經、ヲシテ、義仲ヲ撃シム、兩將伊勢ニ至リ、道ヲ分テ進

○福原ノ戦ハ、如何

○僧昌俊堀川ノ第ヲ襲

ム、範頼ハ、勢多ヨリ、義經ハ、菟治ヨリ、京師ニ向フ、義仲之ヲ拒キ、大ニ敗レ、栗津ニ至リ、追野ノ為メニ殺サル

○二月、平宗盛、福原ニ據リ、兵勢頗ル振フ、頼朝法皇ノ宣旨ヲ以テ、範頼、義經、ニ命シテ、之ヲ攻メシム、範頼、義經、道ヲ分テ進ム、義經、鴨越ヲ歴ヘ、城後ニ出ツ、平氏ノ軍大ニ敗レ、知章以下十將、戦死ス、左近衛中將重衡、虜トナル、宗盛復衆與ヲ奉シテ、噴岐ニ奔ル

○一千八百四十五年、乙巳、頼朝、僧昌俊ヲ遣ハシ、

一八、如何、

義經行家ト
相失スル、
如何、

○仲恭天皇
ノ北條義時
ヲ討ズル、
如何、

北條義時、
ヲシテ西犯
セシメシヤ、

テ義經ノ第ヲ襲ハシム、義經之ヲ敗リ、昌俊ヲ斬ル、伊豫守義經及ヒ、前備前守行家ニ救レテ、頼朝ヲ討セシム、頼朝報ヲ得、親ヲ諸將ヲ率ヰテ、義經行家ヲ撃ツ、行家義經西海ニ奔ラントシ、大物浦ニテ、大風ニ遇ヒ、行家ト相失シ、義經吉野山ニ入ル、
○一十八百八十一年、辛巳、五月、仲恭天皇、北條氏ノ專權ヲ憤リ、近畿ノ兵ヲ集メ、北條義時ヲ討セントス、密ニ人ヲ遣リ、關東諸豪ニ諭ス、義時其子泰時、朝時、弟時房ヲ遣リ、道ヲ分テ、京師ヲ犯サシム、東兵稍々追ヒ從ヒ、十九萬人ニ及ブ、而シテ官

天皇ヲ襲シ、
上皇ヲ流ス、
如何、

○後醍醐天
皇ノ北條氏
ヲ謀ル、
如何、
六波羅頼朝
等ヲ如何セ
シヤ、

軍僅カニ二萬五千人分テ、賊軍ヲ宇治勢多ニ拒カシム、官軍皆敗ル、泰時京師ニ入り、首謀ノ者ヲ求メテ、之ヲ鎌倉ニ送ル、天皇ヲ療シ、高倉帝ノ孫茂仁ヲ立ツ、是ヲ後堀河天皇ト為ス、後島羽上皇ヲ、隱岐ニ、土御門上皇ヲ土佐ニ、順徳上皇ヲ、佐渡ニ遷ス、是ヲ承久ノ乱ト云フ、
○一千九百八十四年、甲子、後醍醐天皇、北條氏ヲ討セント欲シ、藤原資朝、源俊基等、ト謀リ、稍豪傑ヲ延攬ス、美濃人土岐頼兼、多治見國長等之ニ與、カ、ル、既ニシテ、事覺ハレ、六波羅ノ鎮將兵ヲ遣ハシ、

頼國ヲ殺シ、資朝俊基ヲ捕ヘ、鎌倉ニ送ル、高時資朝ヲ佐渡ニ流シ、俊基ヲ釈ルレ、京師ニ還ス、

○北條氏ノ兵京師ニ入ルヲ如何、帝笠置ニ幸スルヲ如何、帝笠置ニアリ、楠正成ヲ召スヲ如何、

高時新帝ヲ立ノルヲ如何、

○一千九百九十一年、辛未、北條高時、再ヒ俊基ヲ收メ、遂ニ二階堂貞藤等ヲ遣リ、兵ヲ率ヰテ京師ニ入レム、帝笠置ニ幸ス、藤原師覺等叡山ニ據ル、六波羅ノ鎮將北條仲時之ヲ攻ム、護良撃テ之ヲ却ク、帝笠置ニアリテ、四方ニ詔シテ、勤王セシム、藤原藤房ヲ遣ハシ、左兵衛尉楠正成ヲ召ス、正成行在ニ至ル、帝見テ大ニ悦ビ、委スルニ討賊ノ事ヲ以テス、九月、高時量仁親王ヲ立テ、帝ト為ス、是

何、

赤坂城陷ルヲハ如何、

○正成ノ再ヒ起ルヲ如何、

○金剛山赤坂及ヒ吉野

ヲ光嚴帝トス、兵ヲ遣ハシ、笠置ヲ攻ム、笠置陷ル、天皇宇治ニ幸シ、平等院ニ御ス、賊神器ヲ新帝ニ傳シ、ヲ請フ、帝之ヲ許サス、十月、楠正成兵ヲ起シ、赤坂城ニ據ル、賊將大佛貞直等之ヲ攻ム、拔ク能ハズ、正成糧尽ルヲ以テ、逃レテ金剛山ニ入ル、○一千九百九十二年、壬申、四月、正成、金剛山ヲ出テ、赤坂ヲ復シ、進テ天王寺ニ陣ス、十月、護良親王兵ヲ吉野ニ起ス、正成千盛城ニ遷リ、別將ヲシテ赤坂ヲ守ラシム、

○一千九百九十三年、癸酉、二月、賊大挙シテ、金剛

ノ戦ハ、如何、

高時ノ六波羅ヲ援フコト、如何、

六波羅ヲ援クコト、如何、
二帥ノ死ハ、如何、

○帝敵山ニ幸スルコト、如何、

尊氏ノ敗北ハ、如何、

○兵庫ノ戦ハ、如何、

楠正成ノ戦死ハ、如何、

山、赤坂及ビ吉野ヲ攻ム、吉野赤坂陥ル、賊軍皆會シテ、金剛山ヲ攻ム、城固ク拔クルコト能ハス、此ニ於テ、北條高時、足利尊氏、名越高家、ヲ遣ハシ、西上セシム、帝源忠顯、児島高德ヲ遣ハシ、兵ヲ率ヰテ、東上セシム、赤松則村之ニ會シテ、六波羅ヲ攻ム、則村、名越高家ヲ狐川ニ破リ、之ヲ殺ス、尊氏降ル、官軍遂ニ六波羅ヲ拔ク、鎮將北條仲時等、新主及ビ西上皇ヲ奉シテ、東ニ奔ル、近江ノ兵撃テ二帥ヲ殺ス、新主上皇皆還ル、遂ニ京都ヲ復ス、此ニ於テ、金剛山ノ圍解ク、六月、鎌倉亡フ、車駕京師ニ還ル、

○一千九百九十六年、丙子、正月、足利尊氏京都ヲ犯ス、義貞ニ歎シテ、大渡ヲ守ラシメ、諸將ヲ分テ山崎宇治勢多ニ拒カシム、官軍敗ル、帝敵山ニ幸ス、諸将来リ賊ヲ撃チ、尊氏摂津ニ走ル、義貞正成追テ兵庫ニ至ル、尊氏海ニ航シテ西國ニ走ル、
○五月、尊氏九国ノ兵ヲ率ヰテ、海陸並ニ進ミテ、京師ニ向フ、義貞之ヲ兵庫ニ拒ク、帝正成ヲシテ之ヲ援ケシム、正成手兵七百ヲ以テ、淡川ニ陣シ、足利直義ニ当ル、義貞和田岬ニ陣シ、尊氏ノ水軍ヲ拒ク、賊軍水陸兵庫ニ會シ、大ニ官軍ヲ敗ル、義

長年ノ戦死
ハ、如何、

尊氏ノ降ル
1、如何、

○頭家ト頭
信ノ軍スル
トコロハ如
何、

頭家ノ死ハ
如何、

○菅田林ノ
戦ハ、如何、

○四條畷ノ
戦ハ、如何、

貞退久、楠正成湊川ニ戦死ス、官軍敗レ還ル、帝復
敵山ニ幸ス、尊氏京師ニ入り、東寺ニ據ル、遂ニ行
在ラ犯ス、義貞等撃テ之ヲ走ラス、進ンテ京師ヲ
攻ム、官軍敗績シ、名和長年之ニ死ス、八月、尊氏豊
仁親王ヲ立テ、帝ト為ス、是ヲ光明天皇トス、十月、
尊氏伴リテ降リ、車駕ヲ邀フ、帝京師ニ還ル、尊氏
帝ヲ花山院ニ幽ス、十二月、帝潛ニ出テ、吉野ニ幸
ス、楠正行其族ヲ率ケ来リ衛ル、

○一千九百九十八年、戊寅、正月、頭家等西上シ、義
良親王ヲレテ、吉野ニ赴カシメ、自ラ安部野ニ軍

シ、頭信男山ニ軍ス、五月、頭家、賊將高師直ト、堺浦
ニ戦ヒ、之ニ死ス、六月、師直頭信ヲ男山ニ攻ム、頭
信敗レテ、河内ニ走ル、

○二十七年、丁未、河内守楠正行、兵ヲ率ケ京師ヲ
復セシメテ謀リ、賊將細川頭氏ト、菅田林ニ戦ヒ、
之ヲ敗ル、十一月、山名時氏ト、氏生野ニ戦ヒ、之ヲ
敗ル、

○二十八年、戊子、正月、足利尊氏、高師直、師泰、ヲシ
テ、兵ハ萬ヲ率ヒテ、来リ撃タシム、正行弟正時之
ト四條畷ニ戦ヒ、之ニ死ス、賊軍進ンテ行在ヲ犯

○御影原ノ
戦ハ如何

○官軍京師
ヲ復スルヲ
如何

○畠山ノ清
國等行在ヲ

○竜門ノ戦
ハ如何

○正儀ト佐
々木ノ戦ハ
如何

○山名氏清
ノ乱ヲ作ス
如何

日本地理書卷之一

三

ス、帝穴生ニ幸ス、楠正儀、高師泰ヲ、石川ニ拒ク、

○二十十一年、辛卯、正月、足利直義、京師ヲ攻ム、二
月、尊氏直義ト、御影原ニ戦フテ敗績ス、

○二十十二年、壬辰、車駕行在ヲ護シ、男山ニ至ル、
楠正儀、和田正忠等、兵ヲ率キテ來リ會ス、足利義
詮、細川顯氏、頼春等、ヲシテ之ヲ拒カシム、正儀、擊
テ之ヲ敗リ、頼春ヲ獲ル、義詮走ル、官軍京師ニ入
ル、三月、義詮復京師ニ入ル、五月、楠正儀、河内ニ還
リ、兵ヲ募ル、是ヨリ官軍屢京都ニ入ル、

○二十二十年、庚子、正月、足利義詮、畠山國清、行在

ヲ犯ス、正儀、帝ニ請フテ、觀心寺ニ幸セシメ、自ラ
赤坂ニ據リ、平岩八尾等、若ヲ修メ、之ヲ守ル、大納
言藤原隆俊、龍門若ヲ守ル、賊將畠山義深、龍門ヲ
攻ム、隆俊、擊テ之ヲ破ル、興良親王、叛ヒテ賊ニ通
ジ、火ヲ穴生ノ行宮ニ放ツ、竜門陷ル、帝前、關白師基
ヲ遣リ、之ヲ討ス、興良敗レテ南都ニ走ル、

○二十十一年、辛丑、九月、楠正儀等、兵ヲ摂津ニ
出シ、賊將佐々木秀詮、氏詮ト戦フテ、之ヲ斬ル、

○二十五十年、辛未、山名氏清、乱ヲ作シ、京師ヲ犯
ス、大將軍足利義満、討テ之ヲ破リ、氏清ヲ誅ス、

日本地理書卷之一

三

○山名細川ノ戦ハ如何

○二千百二十七年丁亥山名持豊細川勝元各大兵ヲ率テ屢京師ニ戦フ

○桂川ノ戦ハ如何

○二千百八十七年丁亥三好長元細川晴元ヲ奉シテ京師ニ入ル細川高国之ヲ桂川ニ防キ敗走ス

○天王寺ノ戦ハ如何

○二千百九十一年辛卯六月細川高国細川晴元ヲ摂津ニ攻ム三好元長晴元ヲ奉シテ天王寺側ニ戦ヒ大ニ之ヲ破リ高国ヲ殺ス

○三好長慶ト三好宗三ノ戦ハ如何

○二千二百九年己酉三月三好長慶游佐長教ト連和シ三好宗三ヲ攻ム宗三援並城ニ走ル細川

○晴元ノ如意岳ニ築クヲ如何

晴元兵ヲ出シテ之ヲ救フ長慶攻メ之ヲ敗ル
○二千二百十年庚戌三月晴元如意岳ニ城キ長慶ノ來襲ヲ備フ

○將軍義輝ヲ殺スヲ如何

○二千二百二十五年乙丑五月三好義継寺ニ條ノ第ヲ因ミ將軍義輝ヲ殺ス是ニ於テ義継高屋城ニ據リ以テ義榮ヲ迎ヘ之ヲ立ツ

○織田ノ三黨ヲ撃ツ如何

○二千二百二十八年戊辰八月織田信長足利義昭ヲ奉シ西上シ京師ニ向フ三好ノ三黨等大ニ驚キ京師ヲ棄テ遁レ去リ山城摂津河内ノ諸城ニ據ル信長京師ニ入り柴田勝家ヲ遣ハシ諸城

○本國寺ノ
國ハ如何

ヲ攻シム諸城皆降ル、

○二千二百二十九年、己巳正月、三好ノ三黨等、兵
萬余人ヲ以テ、京師ニ入り、義昭ヲ本國寺ニ圍ム、
攝津河内ノ諸將之ヲ救ヒ、賊兵ヲ敗ル、五月、信長
二條城ヲ築キ、義昭ヲシテ、之ニ居ラシム、

○義昭ノ兵
ヲ徵ス、如何
ニ、二條城ノ國
ハ如何
旗島ノ戰ハ
如何

○二千三百三十三年、癸酉、義昭兵ヲ徵シテ、信長ヲ攻ム、
トス、信長之ヲ聞キ、自將シテ、二條城ヲ圍ム、義昭窮迫シ
テ、和ヲ請フ、信長乃チ歸ル、七月、義昭再ニ兵ヲ奉
ケ、旗島ニ據ル、信長急ニ二條城ヲ攻メテ、之ヲ陷シ、
遂ニ進ンテ、旗島ニ戰ヒ、之ヲ破ル、義昭降ル、此ニ

○伊丹ノ國
ハ如何

於テ、織田氏、足利氏ニ代リテ、令ヲ京師ニ出ス、

○二千二百三十八年、戊寅十月、荒木村重、信長ニ
叛シテ、伊丹ニ據ル、十一月、信長自ラ將トシテ、村
重ヲ討ズ、十二月、進レテ、伊丹ヲ圍ム、克タス、長岡
ノ策ヲ為ス、二千二百三十九年、己卯、正月、村重夜
逃レテ、華隈ヲ保テ、援兵ヲ毛利氏ニ乞フ、十二月、
信長ノ兵、伊丹ヲ陷シ、荒木ノ族、三千人ヲ誅ス、旗
津ヲ以テ、池田信輝ニ賜フ、信輝華隈ヲ攻メ、之ヲ
陷ス、村重毛利氏ニ走ル、

○明智光秀
ノ叛ハ如何

○二千二百四十年、庚辰六月、明智光秀、本能寺ヲ

光秀ノ敗北
ハ如何

光秀ノ死ハ
如何

○伏見城ヲ
築クヲ如何

圍ミ其君信長ヲ殺ス羽柴秀吉之ヲ聞キ毛利氏
ト和議ヲ講ヒ還リ光秀ヲ討ズ尼崎ニ至リ織田
信確信孝ニ會ヒ戰ヒヲ議ス光秀秀吉ノ至ルヲ
聞キ洞嶺ニ至リ進ンテ淀城ヲ保ソ秀吉諸將ヲ
統テ光秀ト山崎ニ戰フテ大ニ之敗ル光秀走リ
勝龍城ヲ保ソ秀吉之ヲ圍ム光秀又走リ小栗樓
ニ至リ土兵ノ為メニ殺サル
○二千二百五十四年甲午正月秀吉伏見ニ城ヲ
築ク
○二千二百七十四年甲寅十月徳川家康令ヲ天

○大坂ノ圍
ミハ如何

○大塩平八
郎ノ乱ハ如何

○攘夷ノ説
ヲ唱フルモ

下ニ下シテ大坂ヲ攻ム十一月家康秀忠伏見ニ
至リ進ンテ大坂ニ至ル家康住吉ニ陣シ秀忠平
野ニ陣ス諸將進ンテ大坂城ヲ圍ム十二月ニ和
議ヲ請ス二千二百七十五年乙卯徳川家康再ヒ
大坂ヲ攻ム秀頼自殺ス大坂ヲ以テ松平忠明ニ
賜フ
○二千四百九十七年丁酉二月大塩平八郎乱ヲ
作シ火ヲ大坂市中ニ放ナ市廳ニ迫ル城代土井
利位兵ヲ發シテ之ヲ破ル平八郎誅ニ伏ス
○二千五百二十三年癸亥松本謙三郎安積五郎

○長人京師
ニ入ル如何

攘夷ノ說ヲ唱ヘ、兵ヲ大和ニ起シ、五條縣ヲ襲ヒ、
官吏殺シ、進ンテ高取ヲ攻ム、近傍諸藩ノ兵撃テ
之ヲ平久、

○戊辰ノ戰
ハ如何

○二千五百二十四年、甲子、長州ノ國老福原越後
國司信濃等、兵ヲ率テ京師ニ入ル、京兵之ヲ拒
キ、遂ニ大ニ戰フ、長軍敗走ス、

○二千五百二十八年、戊辰、徳川慶喜兵ヲ發シテ
京師ニ入ル、京軍之ヲ伏見鳥羽ノ間ニ拒キ又之
ヲ淀橋本ニ敗リ、遂ニ追テ大坂ニ入ル、尋ヒテ天
皇東征シ玉ヒテ、天下尽ク朝廷ニ歸ス、

明治八年十二月十八日版權免許
同 九年三月發行

定價三十七錢五厘

著 者

堺縣二等訓導
小田縣士族

井出猪之助

堺縣下第一大區老小區
宿院東二町三十二番地寄留

大阪府平民

田中太右衛門

第二大區六小區
安堂寺橋通四町目三十八番地住

同

此村庄助

第二大區六小區
順慶町四町目一番地住

出版人